

tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

1月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

忙しい

2008,1,11

年が明けてから、異常に仕事が忙しい。
 何故か、尻を叩かれ、無理やり走らされている馬のようだ。
 これが、日本の高度経済成長を支えてきた日本の企業なのだろうが、タイ化した僕には、苦痛に感じるだけである。
 取りあえず、周囲の人には、「今年いっぱいセミリタイヤする。」と宣言をしているものの、「今年1年がんばれるのだろうか?」というような感じである。

日本人とタイ人との収入差は、何倍もあるが、申し訳ないが、「それだけ仕事をしている。」と確信できる。

この頃は、ただただ「忙しい」とか「慌しい」としか言いようの無い日々である。

政情不安

2008,1,3

選挙の混乱からイメージするものは、やはり、途上国だと思う。
タイも、混乱しているようだ。
しかし、タイの良さは、一般市民は、何事も無い普段通りの生活を送れることであろう。

12月23日の総選挙で、タクシン派と言われるパラン・プラチャーシオン党が、233議席で第一党に・・・民主党は、165議席を取り、第二党となった。
480議席が、定数だから、パラン・プラチャーシオン党が、少数党と連立を組んで、与党となると言うニュースを信じていた。

妥当なところであろうと思っていた。

ところが、本日、選挙管理委員会が、83名の当選を保留し397名の当選を確定したとの事。当選保留の議員のうち、60名以上が、パラン・プラチャーシオン党の当選者だと言う。

世間の噂によれば、軍は、当然タクシン派政権ができることを望んでおらず、故意的に、当選を阻止しようとして選挙管理委員会に圧力をかけた。

ここまで話があると、嘘でも本当でも良いが、「始まっちゃった。」と思うしかない。

選挙結果に従って、タクシン派が、そのまますんなり政権を取れば、軍関係者や、タクシンにアレルギーのある人は、嫌であろう。

だからと言って、選挙と言う民意を抑制し、パラン・プラチャーシオン党当選者の選挙違反を厳しく取り締まっても反発がでる。

つまり、タイの政治情勢は、不安定な様相になってきた。

年が明けたので、2年前に起こったクーデターからタイを見る目が変わりつつある。

生活していくうえでは、危険な目に遭遇したこともないし、平和で、のんびりした国であると思う。

しかし、2年前からの政治情勢と、世間の判断能力・思考能力を見ると、「途上国」と思わざる得ない。

在住同士で、こんな話になると、「だから、スニーみたいなのところが存在するんだよね。」っていう結論になる。

タイ人とお金の話になっても、「タイ人が貯金するようになったら、タイ人ではなくなってしまう。」というまとめになる。

良い面と悪い面は、常に背中合わせということか。



役所の仕事始め

2008,1,2



タイは、正月休みは、少ない。

その代わり、4月のソクラーンが、大型連休となる。

去年は、29日が土曜日だったので、29日から1日までが休みという企業も多かったようだ。日本では、3日までは、休みだろうと思っているが、タイの役所関係は、1月2日より仕事始めである。

信じられないかもしれないが、コンド購入後、電気や電話の名義変更を行っていなかった。

ゴミコンドの方は、電気・水道共に、事務所で精算するので関係なし。ゴミコンドは、固定電話は無いから関係なし。

ところが、ジョムティアンのコンドは、電気は、電気会社直接で、水道は、コンド事務所が管轄し、電話代は、電話会社直接である。

水道代は、OKとして、電気と電話の名義変更をしていなかった。

というのも、電気会社は、月曜から金曜の役所時間だし、旧持ち主の書類（委任状も含め）も必要だったりする。

朝、ダムさんに申請書と共に、必要書類一覧を直接窓口で、確認してもらい、急いでコピーをしたりサインをしたりして、窓口へ再び行く。

ところが、「今日は出来ない」と言われる。

理由を聞くと、「理由は、分からないが、あの人に言われた。」との返答・・・アホらしくなって、その人に聞くと、「書類は、揃っているのか？」等・・・いかにも、「やりたくない。」という顔をしている。

で、最終的に、「お願いして、やっていただける。」ことになったが、あまりの怒りに、「さっきは、あの人は、何で出来ないといったんだ。」と少々語気を荒らげて問いただす。

「ごめんね。あの子は、今日、ヘルプに来ているだけの子だから」と言う返答。

つまり、正月前後で、役人も休みが多く、誰かの親戚かなんかを連れてきて、取りあえず座らせているだけのことである。

もう、正月から、呆れて怒る気もしない。

電話局でもそうである。

結局は、名義変更が出来なかった。

理由は、外国人だからという理由で、追加の書類があったのだ。

それが、漏れていた。

ダムさん曰く、「タイ人から外国人への名義変更だと受付のあの子に言ったら、この書類を指示された。」と言う。

窓口の係員は言った。「あの子、デック・フックガンだよ。」って・・・

デック(子供)フック(研修)・ガン(仕事)であり、学生が、社会勉強の一環として会社での実務を経験しているという子。

「そんな子、受付に座らせるな。」「研修してから、客前に出せ。」と言いたいが、タイだから・・・仕方ない。

そんなこんなで、正月休みの最終日は、パタヤの街中を何往復もし、その結果、出来たことは、電気の名義変更だけであった。

残った課題は、

電気の銀行自動引き落とし。

電話の名義変更。

電話の銀行自動引き落とし。

この国で、なにか手続きをするのって、本当に大変だと思った。

コンド買う方が、慣れているせいか、何も問題がないような気がする。

まあ、電気や電話も問題はないのだろうが、初めてのことをするのって、結構大変である。



花火

2008,1,1



正月は、パタヤの高台のラジオ局のある展望台で花火を見てカウントダウン。

夜中の12時に酒も飲まずに、外に居るということは、滅多にないので、「タイって、こんなに寒いんだっけ?」って思うほど、寒かった。

2004年の9月からパタヤに住んでいるが、最初の3年は、ずっとスニーで危険な花火と共に、正月を迎えていた。

去年は、某コンドの屋上で、花火を眺めて、パタヤの町全体の花火のすごさを知った。

スニーに居たら、気がつかない事だろう。

花火の感動をすっかり拭い去るかのように、渋滞に巻き込まれ、帰宅したのは、夜中の2時を過ぎていた。

バイクで動いていたが、帰宅がこの時間になるということは、いかに渋滞であったかが分かる。

正直言うと、タイに来て、カウントダウンは、必ず何処か外に居る気がするが、日本のように、紅白が終わり、除夜の鐘を聞きながら寝るという方が、どんなに落ち着くかと思う。

来年は、何処へも行かないという選択肢か、花火の見えるホテルに泊まり、部屋から眺めるといのが、正解かもしれないと思った。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月 2月の日記 次の月

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

タクシン前首相帰国

2008,2,28

タクシン前首相が、本日、タイに帰国した。
 ネットの映像で、いわゆる土下座（国王に対するポーズ？）を見て、「国民に謝っているのか？」と聞いたところ、「違う。キットウン・タイ（タイが恋しい）」ポーズだと言う。

クーデターで失脚した前首相。いくつもの逮捕状が出されている現状を考えると、普通の国なら、一生帰って来れないのではないかと思う。
 しかし、1年も過ぎれば・・・というか、堂々と帰国し、帰国する飛行機内でもTVのインタビューに答えていた。
 さすが、タイランドといったところか。
 最高裁で、800万バツの保釈金を支払って、すぐに自宅に帰れると言うところも、タイは、「金持ちが勝ち。」を見せ付ける形となった。

僕は、タイ政治には、興味がないが、「すごい国だなー。。」と改めて思う。

そういう日本も、「安倍総理の突然の辞任」や「民主党と自民党の大連立」など、なかなか面白い出来事が多い。

歯痛の件

2008,2,27

歯を馬鹿にしてはいけないと痛感。

26日について我慢が出来ない状態に・・・我慢できないと言うか、頭痛を伴う状態になってしまい、会社を早退して、バンコク・パタヤ病院へ直行。

結果は、「何でもない。」「歯肉炎」ですとの回答。

レントゲンも取り、それでも、そんな感じ。

私は、歯科医で、歯肉の治療は出来ない。

明日、歯肉の専門医に診てもらおうように・・・という信じられない診察結果と先生のお言葉。

痛み止めと、抗生物質をもらう。

「根本治療になっていないなー」と思いつつも、まあ、様子を見ようということで、帰宅。

夜から、頭痛と共に、リンパ線まで腫れている気がした。

気のせいかと思って寝たが、翌朝、高熱。

明らかに痛い歯の側のリンパ腺の腫れと関係していると思う。

しかし、今日は、どうしても、「僕にしか出来ない仕事をしなければいけない日」・・・そうそう、給料を振り込む為の承認暗証番号を押さなければならない日。

休んでいる場合ではない。

熱があっても、這ってでも出勤しなければいけない日。

8時に出勤と同時に、バンコク・パタヤ病院の予約を取り、その後、1ヶ月で一番大切な仕事をやり終え、再び、病院に行った。

今日は、大げさに症状を医者伝える。

リンパ腺が腫れている。

熱がある。

痛みがある。

歯肉専門医は、麻酔をして、とにかく、膿を出すと言っていたようだ。

ここまできたら、「何でもいいから、なんか治療してください。」という思い。

痛み止めと抗生物質だけ飲んだとしても、何の根本治療にもならないと思うからである。

麻酔を打っていたから、痛くも無く、どんな治療をしたのかも分からない。

吸引機の容器は、どす黒い液体だった。出血するするほど、ほじくっていたのか???

終了直後は、痛みを感じていた。

当然、膿を出したんだから、ほじくった傷の痛みであろうと思う。

4時間後、頭痛がおさまった。

それと共に、リンパ腺の違和感も無くなった。

あっぱれである。

医者 of 良し悪しで、こんなにも、天国と地獄になるのかを痛感したことと、「歯を馬鹿にしちゃいかん。」と思った。

いずれにせよ、「元気バリバリになりそう。」な予感。



何かが変わった。

2008,2,25



ダム家の人々が、おかしい。
 ダムさんの給料が入社時の3倍になった途端、何かはじけたようだ。
 「ダムは、金持ちになった。」と思い込んでいる気がする。
 つまり、お金の要求がすごい。

学生時代は、当然、親へお金を送ると言うことなどあり得ない。
 ダムさんも、実家にもお金が無く、食費も困ったと言う状況。

軍隊に行っていた時も、安い月給で仕送りなど出来るはずがない。

働き出して、数千パーツの給料では、実家への送金もできるはずがない。
 2-3ヶ月に一度、帰省する時に、2千パーツほどのお小遣いを渡すのが精一杯である。

年末のボーナス時に、かなりのお金を送金した。
 ボーナスの40%ぐらいの額である。
 その時に、「ケチ」と散々言われたと言う。
 汗水たらして稼いだボーナスは、年末年始の宴会で消えたようだ。

年末に、昇給し、1月より通訳となったことで、さらに昇給したことで、プツッと何かはじけたような気がする。
 お金の催促の電話が、すごい。

「雨が降らない。」「お坊さん呼んでタンブンをする。」「電化製品が壊れた。」「新しい携帯欲しい。」・・・まさに、「十分」「ほどほど」という言葉を知らないようだ。

僕は、「自分が、稼いだ金だから、どう使おうが構わない。」と思う。
 また、「家族に送金する。」というのは、タイ人の使命のような気がするし、理解はする。

しかし、その結果、信じられないことが起きている。

誰が聞いても、「凄いね。」と言うレベルの給料を貰っているにも関わらず、お金が無い。
 貯金も、全く出来ない。
 給料が上がり、豊かになるはずの生活が、全く逆行である。
 僕に、100パーツくれという始末。
 さすがに、怒り爆発寸前である。



歯が再び.....

2008,2,24



40歳を3年後に向かえ、身体あちこちに修理が必要なのではないかと考えている。
 昨日から、歯が痛くて仕方が無い。
 歯が痛いということは、何を食べても美味しくないとすることである。
 何ヶ月か前も、原因不明の奥歯の痛みを経験し、数日後に、何の治療もせずに直った記憶がある。
 歯医者に行っても、何処も悪いところはないというから、治療しようが無かったのである。
 今回も、近日中に歯医者に行こうと思うが、医者は、どうだろうか？

念のために、バンコク・パタヤ病院に行こうかなー。
 それとも、4月の一時帰国時に、社会保険で歯医者に行った方が、良い治療が受けられるかもしれない。



食の安全

2008,2,14



日本では、中国製餃子事件が、大きく報道されているようである。
先進国ほど、農薬の残留値とか、賞味期限とか、原産地表示とかいろんなことが細かく規制されるようになるようだ。

タイでは、「食べ物の安全に関して、どう考えているのだろうか？」とふと思う。
多分、この手の問題は、日本と比べて30 - 40年くらい遅れているような気がする。

日本では、カキ氷にかける位しか見当たらないイチゴのシロップを平気で飲んでいる。
舌が赤くなったのを見て、「身体に悪そう。」と思うが、本人たちは、全く気にしていない。

タイ料理・・・ご存知のように、調味料と油とニンニクのミックス。
唯一、ニンニクだけは、身体に良さそうに思うが、その他は、身体に悪そうなものばかり。
唐辛子の辛さに隠されているが、塩分もかなり含まれていると言って良い。

農薬だって、テンコ盛りである。
農家にとっては、消費者（食べる人）の健康より、自分たちの収入源である作物が、害虫に犯されない方が優先である。

タイ人の基本的な考えとしては、「今、美味しいものを食べることが幸せ」なのであり、多少、農薬があろうが、この先、何十年後かに起こることを深く考えることはない。

確かに、日本のように、「完璧な食べ物」だけを摂取したとして、どれだけ寿命が延びるものかと思うし、「完璧な食べ物」を作り・選び・・・等の工数を考えると、それだけの利益があるのか疑問である。

今の自分は、タイ的な考え方が良い気がする。
食べる楽しみというが、食べ物に関して、「賞味期限は？何処で生産されたか？」なんて、考えながら、選び、食するなんて、それ自体の労力が大変である。

だって、人間だもん。
「これは、食べられる」「これは、食べちゃ駄目だ」というのは、本能的に分かるはずである。表示等がない分、タイ人のそういう能力は優れていると思う。

まあ、殺虫剤入りとかそういうレベルは、全く別な話でしょうが・・・



営業外収入

2008,2,13



会社の経理を任されている。
自分のお金ではなく、会社の（他人の）お金を任されているから、やはり気も使う。
最近、資金繰りが面白くて仕方が無い。

使わないお金は、定期に入れ、少して小銭を稼ぐ。

小銭と言っても、額が大きいので、すぐに作業者の一人分や二人分の月給を稼ぐ。

多分、日本でも大きな会社になると、色々な所に投資をしたり、株を買ったり、海外取引が多いところは、為替等で本業以外にも営業外利益を出しているはずである。

「お金が働く」「資産が働く」ということをゴミコンドで、身をもって体験していることが、仕事でも役に立っており、先々のキャッシュフローを見越して、普通預金に置いておいても仕方が無いお金を定期的に短期で入れたりして、小銭を稼いでいる。

自分に置き換えて、「キャッシュフローの扱いが上手くなったら、良いなー」と思いつつ、会社のお金とはいえ、小銭を稼ぐ喜びを覚える。

会社で言えば、本業は、物を製造し、販売したお金であり、営業外収益が、これらの受け取り利息等であ

る。
個人で言えば、本業は、会社からの給料で、副業が、ゴミコンドの家賃と言うことが言えよう。
営業外収益・副業の収益・・・どちらも、すっごく嬉しい収入である。

不法就労

2008,2,12 

タイで働く不法就労の人（ミャンマー人）と話をする機会があった。
パタヤでTと言えば、誰もが知っている場所。
そこに、大量の不法就労ミャンマー人が居る。
対応は、下記の通りである。

所属：メイド課
給料：4500バーツ
送迎：あり
労働時間：12時間（5；00-17；00）
休日；7日働いて、1日休み
制服；1着150バーツ（上下で300バーツ）で自己購入（天引き）

19歳の不法就労っ子は、パタヤで働いて1年が経つが、何処も出かけたことがないという。警察に捕まるの嫌だから、家と職場しか知らないと言う。

しかし、よく考えてみたら、結末は、こうなると思う。

ほとんど休み無く、1日12時間も働き、少しばかりのお金が貯まった頃に、警察に踏み込まれ、強制送還だけなら良いが、貯めたお金は、没収。
だって、IDカードもないもなく、自国に外国送金できるとも思わないし、自分で通帳を持っているとも思わない。
タンス貯金で、警察に捕まれば、巻き上げられるのは当たり前。

実は、すごく可愛いと思っているんだけど、カードも何もないと聞いて、やはり「この子と関わりあうのは辞めよう」と思った。

長期ファンド

2008,2,6 

何故か、バタバタしており、日記の更新を怠っている。
友人より、「生きているか」とメールが入り、慌てて、更新している。

最近の大きいニュースは、長期ファンドの利回りが、年に30%近い利回りが出たのが、大きな出来事である。
元々、このファンドは、税金対策の為に、購入したもので、購入価格の30%までが個人所得税控除の対象とされる。

2006年末に10万バーツ、2007年末に3万バーツの合計13万バーツ分購入した。
現在、167,947バーツになっている。
もちろん、この先、暴落する可能性もあり、短絡的に、喜べないが、タイに住んでいると、発達・成長・上昇ということを実感する。

コンドにしたって同じである。

「値が下がる」という感覚は無く、とにかく「上がるもの」と言う感じがする。

給料にしても同じである。

ニュースで、日本では、何年か連続して、サラリーマンの平均所得が減っていると聞いた。

タイで、「給料が下がる」ということはあり得ない。

何度も、タイ人と議論するが、法的根拠は無くても「駄目」の一点張りで、あり得ない話として、「馬鹿者扱い」である。

法的根拠が無くても、「労働条件の悪化」と言う言葉で、「とにかく駄目である。」

タイに長く住んでいると、タイボケしてしまい、勘違いしそうである。

「物を買う。何年か使って不要となったら買った値段より高い値段で売る。」

日本人は、理解しがたい話である。



説得される

2008,2,5



両親のことを書きたいと思う。

現在、二人とも健在。

四捨五入すると40歳になる僕の両親は、70歳前後。

60歳は、定年の年齢。

65歳からは高齢者と呼ばれる年齢。

しかし、二人とも、「高齢者」と呼ぶには、程遠い気がする。

事実、昨年、タイに遊びに来た際に、タイ人が年齢を聞いて驚いていた。

確かに、タイ人が、70歳近くで海外旅行に行くとは思えない。

さて、四捨五入すると40歳になる息子（僕の事）に「結婚はまだか？」「子供を早く作らなきゃ」「お墓を守ってもらわないと」と時々いつてくる。

正直、この類の話が一番嫌である。

いつになったら諦めるのかと思う。

人は、いろんな生き方があって、人それぞれ幸せが違うと言うことが、何故分からないのか不思議である。

日本人の価値観って、すごく狭いと感じる。

適齢期になれば、結婚し、子供を作って、家庭を作る。

それが、何よりの幸せであり、その道から外れると、「非社会的人生」のような扱いをされている気がする。

第三者であれば、「ちょっと、代わった人かな？」と思われて終わりとなるが、親子となるとそうもいかず、「責められている」ような感じである。

特に、最近は、「最後の説得」「最後のチャンス」という勢いである。

「困ったなー」というレベルは、海外に住んでいるからこそなのかもしれない。

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

3月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
<u>2</u>	<u>3</u>	4	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>7</u>	8
9	10	11	12	13	14	15
16	<u>17</u>	18	19	<u>20</u>	<u>21</u>	22
<u>23</u>	<u>24</u>	25	26	<u>27</u>	28	29
30	31					

想定外

2008,3,27



「遠慮を知らない」という言葉がある。
 直属の部下が、結婚した。
 平日に結婚式を行うので、結婚式に参加できない。
 従って、結婚式終了後、パーティーでも開催したらどうか・私がスポンサーになるから・・・と言った。
 常識的に、同じ課の子（3人）とオフィスの何人かを誘うのかなーーと思っていた。
 結果は、全く違った。
 相手（夫）の会社の人数は、20名で、こっち（妻）側が40名で、総勢60名が集まるそうだ。
 そりゃ、驚きである。
 私がお金を払いますと言ったので、払いますよーーーー。
 でもね、60名は、無いよなーーー。
 当日は、もっと多くなることが予想される。
 だから、大目のお金を先に渡そうと思う。
 これだけ払って、あとは、自分たちで何とかしなさいということで・・・

それにしても、60名は、想定外の数字である。
 驚き・・・としか言いようが無い。



気になる二人

2008,3,24



来週、ダム家がパタヤに遊びに来るらしい。
慣れたもので、僕は、ホテルに宿泊することを決めている。
たまの息抜きも兼ねているので、逆にありがたいことであると前向きに考えられるようになった。

最近、気になっている子が二人居る。
遊びが本気と言うか、一人は、遊んでもいないけど・・・

一人目は、スニーっ子・・・ノンケである。
年末に指名し、以後、ダムさんが不在時に、必ず遊んでいる。
多分、4回目くらいかな？

ノンケだけど、あっちの方の相性が、バッチリの為、つつい離れられない。
普通なら、スニー子は、終わったら、とっとと帰ってくれと言わんばかりの対応なのだが、この子に限っては、「泊まってくれるか？」と言い、翌朝、もう1回。
ケーキ・プラジャム（常連客）と僕の事を言い、名前すら覚える気もない。
常連客で良いのだ・・・来週も、指名する。

もう一人は、トニーに働いているカンボジア人。
休みも無いのか、行く度に良く働いている。
朝の5時から夕方5時までの勤務で、1ヶ月の給料は4500バーツだと聞いている。
まじめに働く姿を見て、思わず可愛いと思ってしまう。
最近、結構、話をする。
タイ語は、読めないが話す。
19歳の頭は、記憶力が良いのだろう。

ちなみに、この子は、色白である。
何年振りかで、色白の子を可愛いと思った。
多分、一生懸命、働いている姿に、興味を持っているのだろう。

ビールを飲み、誘おうと思っているが、「ビールは、飲んだことがない。」「労働許可書や証明書がないから、パタヤに着てから、一度も何処にも行った事がない。」という子を、「おじさんが、好きなところへ連れて行ってあげる。。。。。」と言いたい。



所得UPがしたい

2008,3,23



最近、考えていること。
いかにして、「労働から得る対価からの生活費を減らすか？」ということである。
分りやすく言えば、「給料以外の収入を増やしたい。」と考えている。

日本は、何年か連続して、サラリーマンの平均年収が減少傾向にあると聞いた。
自分の場合を考えると、「これ以上、給料が増えることは、当分は、あり得ない。」と思っている。事実、昨年末も、当然のように、「給料額は、据え置きとなっている。」

会社から貰う、給料には、満足している。
別に、足りないわけではない。
しかし、人間、欲というものがあり、「この給料が、全額貯金できたら、凄いなー」と考える。

ゴミコンドの収入からだろう。

こんなことを真剣に考えているのは・・・2部屋で、たかが、数千パーツ。
しかし、田舎の家賃・電気・水道などの費用を、充当できる額である。

パタヤは、自前のコンドミニアムで、田舎は、ゴミコンドから得る収入で充当すれば、生活費における住居費は、なしと考えられる。

まあ、貯金できる額が増えれば、良いなーってだけである。

田舎の家賃の話で思い出したが、何故か、田舎には、日用品のストックが多い。

昨日、ストックは、1つの製品につき、1つにしようと心に誓った。

シャンプーのポンプ式が3つ。

制汗スプレーが、5本。

ビールは、銘柄が決まっているので、12本以上は、ストック。

水の5Lタンクが3本

フルーツジュース 1Lが4本・・・等

やはり、多すぎである。

泥棒に入られてからは、仕方ないから、高級マンションに引っ越すかなーって思い始めているので、余計に身軽くしたい。

ちなみに、隣の隣の工業団地に、エグゼクティブ・コンドが出来た。

家賃1万2千パーツは、この辺りでは、あり得ない値段である。

しかし、サウナ・ジム・プールと付いているので、警備体制が良ければ、魅力的である。

会社から、15KMの距離だが、超渋滞の工業団地を通過してくることを考えると、30分以上は、通勤に時間を費やすことを覚悟しなければならない。

やはり、今のままが良いのかなーとも思いつつ、悩んでいる。

いずれにしても、今の僕の生活で、荷物を増やすことというのは、予備の日用品を減らすことである。



大量発生

2008,3,21



タイ国鉄でツツガムシが大量発生しているようで、乗客から苦情が相次ぎ、運休をして消毒作業をおこなっているようだ。

同時に、タイ国鉄の車両は、ゴキブリも大量に飼っているようである。

タイは、ゴキブリを目の当たりにすることが多い。

日本のゴキブリよりゆっくりとした行動をし、素早く逃げていくところを見かけることは少ない。

暑いところが好きなのだろうか？最近、僕が一番良く見かけるのは、サウナの中である。

年中、湿気があり、ゴキブリが好きそうな環境ではあるが、何と云っても、かなりの気温。

よくまあ、ゴキブリ君もこの暑さの中で、生き生きと生きているなーと思ってしまう。

本日、タイ保健省のビルで、ねずみが大量発生という記事も目にした。

ハエの大量発生の季節であるが、夕方日が暮れる前のハエ君の活動が一番活発のような気がする。

田舎で食事をする際は、ビールには、ナイロン袋をかけ、ビールを注いだグラスにもビニールを被せてある。

おかずは、注文し、テーブルに運ばれてきたら、素早く食べつくすか、常に箸か何かで、ハエを追い払いつつ、食べなければならない。

つくづく、「こんな所で、食べたくない。」と思ってしまうが、青空レストラン以外で、毎日食事が出来るような場所は村の中にはない。

でも、ハエの場合は、季節ものですから・・・・

すっかり、慣れっ子です。

泥棒に入られた

2008,3,20



泥棒に入られた。

タイに来て、初めての経験である。

酔った勢いで、連れてきた子が、朝起きたら、携帯と共にドロンというのは、過去に何度か経験がある。しかし、仕事に行っている時に、泥棒が部屋に入り、部屋のものを盗んでいったということは、本格的な泥棒である。

田舎のアパートでの出来事。

田舎のアパートは、村で一番高級なアパートである。

正面ドアは、カードキーが無いと開かない。

しかし、昼間は、ほとんどの人が、仕事に出かけており、掃除のおばさんが掃除をしているくらいである。

一応、部屋のドアノブの鍵の他、南京錠をかけており、今まで、留守の間に泥棒が入るなんて、考えたことも無かった。

帰宅して、ドアのぶに鍵を差し込んだが、入らない。

「おかしいなー」と思いつつ、差し込むことも出来ないし、当然、廻すこともできない。ダムさんの鍵でも、同じ。

何とか、こじ開けたと言う感じ。

南京錠の方は、普通だったので、「おかしいなー」ぐらいの感覚しかなかった。

で、「ノートパソコン」が部屋から消えていた。

ちなみに、他には、何一つ盗られていない。

一応、冷蔵庫・電子レンジという電化製品のほか、日用品のストックは、ズラリと並んでいる。

そんなものには、目もくれずに、ノートパソコンだけが盗まれた。

確かに、カバンの中に入っているから、怪しまれずに、出れるのだと思う。

しかも、親切に、出る時は、南京錠を掛けて、帰っていった。

いや、不気味である。

自分の不在の間に、人が入って、物色して、何かを盗んでいったと思っただけで、気持ちが悪い。

タイで、初めての経験に、どうすることもできず、大家に相談し、早急にドアノブの鍵を取り替えてもらうぐらいしか、打つ手が無い。

ちなみに、友人に聞いたのだが、南京錠は、いとも簡単に開けられるらしい。

変な外人

2008,3,17



パタヤに住んでいると、変な外国人を良く目にする。
今日は、日本人からすると変な外国人を紹介したい。

スキンヘッドのファランをあちこちで目にする。

「髪の毛は、頭を保護するためにあるのだから、何もそこまでツルツルにしなくても良いのに・・・」って思うほど、気持ち良く剃りあげている。

サウナの中で、かみそり片手に、頭を剃っているファランをしばしば目にする。

かみそりの刃に目詰まりしないのかなーなんて、思う。

サウナの中だから、当然、水道で、剃刀を洗うこともせず、何度も何度も頭に剃刀を当てている。

しかも、鏡も見ないで・・・ファラン・・・不思議な国の人である。

次は、アジア系の男の人・・・思いっきり包茎で、シャワーから出てきて、皮を剥いて、何度も何度も、拭いている。

拭き終わった後は、またそっと元通りに戻して、パンツを履いていた。

行為自体は、不思議な行為だとは思わないが、よくもそこまで丁寧に・・・と思うくらいに、拭いている。

これだけ綺麗に拭けば、あの嫌な匂いも、無いのかも???

最後は、隣のタイ人。

パタヤのコンドの横のタイ人は、2部屋続きで部屋を持っている。

自営業で、洋服を売っている。

収入は、サラリーマンより良く、大金持ちとも言えないのだろう。

というのは、朝、8時ごろ出かけていって、夜の10時ごろ帰宅という同じパターンを365日過ごしている。多分、場所代が、月にいくらか決まっているから、休めばもったいないと思っているのかもしれない。

休んで、昼間、コンドでゴロゴロしている風景は、見たことがない。

で、不思議なのは、出勤時間と帰宅時間が同じ時間であることは、当たり前のことだが、夕食で食べるものが、ほぼ同じと言うのも、不思議なものである。

夜の10時過ぎに、魚の揚げるにおいがする。

日本で言う「あじ」を揚げている匂いである。

この匂いがすると、ダムさんと二人で、「また・・・」ということで、顔を見合わせ、急いでベランダから洗濯物を取り込む。

冗談抜きで、毎日、「アジの揚げ物」の匂いがする。

不思議な人が多い、パタヤです。



環境を変えたい

2008,3,7



最近、仕事が落ち着いてきている。

田舎生活を辞めようかなーなんて、考える時もある。

早く帰れるのなら、毎日、パタヤに帰って・・・という選択肢もあると思う。

朝、早く起きなければいけないことを思うと、やっぱり×かな？

信じられないことだが、この田舎に、エグゼクティブ・コンドミニウムが建った。

2年前の売り出し価格が40万バーツで、今は、倍の80万バーツである。

距離にすると、職場から15キロほどの距離であり、そこを借りようかとも思っている。

1万2千バーツと言う金額は、この田舎にしては、ものすごく高い家賃だと思う。

しかし、プール・フィットネス・サウナが付いているから、安いと言えるかもしれない。

早く帰って、浴びるほどビールを飲み続ける生活に比べたら、よほど健康的だと思う。

ここで、問題になるのが、ダムさんの足である。
家賃だけ考えたら、僕が、ここに住んでも良いと思う。
しかし、送迎バスが通っていない場所なので、ダムさんに車を買って与えなければいけない。

「バイクで通え」などと言おうものなら、大変である。
この何年かで、それだけ、階級を上げたというか、贅沢をさせてしまったのである。

車というのは、この国では、やたらと高いものであり、安い中古車でもゴミコンドの2部屋分ほどの値段である。

田舎生活も、限界に近づいていることを予感させている。
昨日も、早く帰って、外でビールを飲んでいたら、ハエに囲まれて、「不機嫌に・・・」
ビールの口に、ビニールをかぶせて、ハエ避け対策をしているが、それでも、周囲に大量のハエに囲まれては、何をしたら、イライラ感が増すだけである。

多分、何らかの形で、環境をズバッと変えるような気がします。

-



ハエのシーズン

2008,3,6



ここ数日、仕事が暇である。
通勤が面倒くさくて、職場の近くに引っ越したのは良いが、あまりに早く帰ると、暇すぎる。
田舎ののんびりとした・何も無い景色を見ながら、明るいうちからビールも良かろうと思って、青空レストランに近い食堂で、ビールとソムタムを注文した。

あらあら、ハエに囲まれてしまった。
その数、言葉では言い表せない。
別に、餌の匂いも無しに集まってくるらしい。
横に置いた新聞の上に、20匹ぐらい。
瓶ビールの口には、10匹ぐらい。
グラスにもたかっている。
ビールを注ぐ時に、逃げ遅れた運動神経の鈍いハエが、ビールの泡に混入。

「まあ、田舎だから、ハエも、汚くは無いだろう」などと馬鹿げた発想で、適当に手で追い払いながら、食事をしていた。

しかし、30分ともたかなかった。
目の前、見渡す限り、ハエがブンブントたかっている。
どう考えたって、注文したソムタムにも、箸がいかない。
ビールだって、これ以上、ハエと格闘しながら飲もうとは思わない。

缶ビールと氷を買って、家でチビチビ飲むことにした。
何だか、田舎生活も、辛いですな――。

-



5つ星のランチ

2008,3,5



バンコクのドゥシットホテルでランチbuffetを食べる機会があった。
久々に、「旨い物を食べた」って気がした。

最近、食に関しては、贅沢し放題だと思う。
タイは、食べ物が豊富な国である。
しかも、日本と比べると、格段に安い。
その分、安全度は???

シーフードレストランも、飽きた。
日本食も飽きた。
タイ料理は、もちろん飽きた。
イタリアンは、特に好きではない。
洋食を和食にアレンジした料理が食べたいくらいである。(キノコスパゲティーとか・・・)

ドゥシットホテルのランチbuffetを食べて、「旨い」と久々に思った。
ビーフシチューの肉がやわらかい。
魚のレモン風味も完璧。

ついでに言えば、久々にケーキを食べた。
甘いものは、元々食べない人である。
それが、何故か、ペロッと5個も食べた。

部下にお土産に・・・と思い、ケーキ売り場に行ったら、1個 110-120パーツだった。
買わなければいけない数を考えて、買うのをやめた。
大げさだけど、今までの人生で、「ケーキを買って帰ろう。」と思ったこと自体が、記憶に無い。

ちなみに、いきなり肉系とケーキなどを腹いっぱい食べたものだから、久々にニキビ(吹き出物)が出た。

昼のランチを食べたが、夜まで、お腹がいっぱいな状況が続いたので、これはやばいと思い、夜は、茶ソバと缶ビール2本で終了した。

でも、今日の昼で、3日分ぐらいのカロリーを食してしまったような気もする。



ダムさんの定期預金が・・・

2008,3,3



ダム家が、何か問題が起こっているという話は、既にしたばかりである。
本当に深刻かもしれないと知ってしまった。

どうして事の深刻さを知ったかと言えば、ダムさんの定期預金が一部、引き出してあった。

ダムさんの定期預金に関しては、本人も「絶対に、解約しない。」ということのを心に誓っていたようで、今まで、引き出したという記憶がない。(増えるのみ)

実は、僕も協力している。
つまり、ダムさんが、5千パーツ入れて、僕も5千パーツ入れて、合計1万パーツの貯金という感じで、協力していた。
最近、経済的に余裕があるので、ダムさんの将来の為に・・・と思って、定期預金に貯金する際は、少しだが、必ず、足しているという状況だった。

しかし、その定期から、田舎の年収分に匹敵する金額が引き出されていた。

僕は、何も聞かなかった。
聞いても、腹が立つだけだから・・・聞かない。
「親戚が病気だ。」とか「今年は、雨が降らないので不作だ。」とか「貸しただけ。」とか・・・

この件があってから、ダムさんを見る目が変わった。

「やっぱり、タイ人なのだ。」

無理やり、日本人の考えを洗脳しても、ダムさん自身は理解できるが、背負っている家族や色々な問題があり、無理なのだ。

何より、経済的に自立した者は、親のみならず、兄弟、親族にお金を送ると言う行為は、タイ人が、洗脳されている思想の一つである。

今後、ダムさんが貯金する時に、僕のお金が足されることは無いと思う。

方針転換である。

「僕が、僕の名前で貯金し、ダムさんが困った時に、僕のお金から出す。」

これが、正しいやり方だと思った。

ダムさんに、「将来の為」とか言って、「ダムさん名義で貯金」したとしても、無駄なことがよく分かった。

タイで財産を築くには、タイ式のやり方が相応しい。

とにかく、現金を持たない。「借金をする。」のだ。

この国では、貯金（プラス）は、駄目である。

誰かが「口を開けて待っているから」

とにかく、「借金で、物を買う。」のである。

高い利息を払うのは、本当にもったいないと思う。

しかし、借金をして、物を買えば、支払の為、手持ちのお金は無い。

でも、それでいいのだ。

だって、「お金がなければ、誰にも持っていかれないから」

払えなくなれば、物は、没収されるが、スタートに戻るだけ。

極論であるが、タイではこれが、正解であるような気がする。

アロイジャン

2008,3,2 

119パーツ食べ放題のムーガタ（韓国風豚なべ）に行った。

アロイジャンという店名である。

場所は、スクンビット沿いで、セントラルとサウスの間にある。

セントラルに近い場所である。

69パーツからあるムーガタの店の中で、高めの料金設定の理由は、日本食があるからである。

前回行った時は、「美味しくはないけど、食べられるな。」「この値段からすると十分じゃないか。」と思えた。

ダムさんが。「最近、痩せた」というので、じゃあ、buffetでも・・・ということで、久々にアロイジャンに行くことに決めたのだが、僕は、日本食食べ放題を期待して行ったのだ。

久々のアロイジャン・・・あまりの不味さに...言葉が出ない。

お好み焼き・・・これぞ、粉って感じの味がする。ソースは、マヨネーズソースで、おなかも少しかかっているが、「粉臭い」

寿司・・・寿司が美味しくないとか言う前に、「何だ！この米」って感じ。ネタは、良くこんなに薄く切れるなど言うレベルにまで薄くきってあるし、ネタの味は、一切なく、不味い米の味だけ。タイ人大好きな練りものの代表が、「蟹カマボコ寿司」は、見るのもうんざりである。

ポテトサラダ・・・これは、惜しいと思う。もう少し、塩を入れるか、何かすれば、大正解なのに、何

かが足りない。

茶碗蒸し・・・これも、惜しい。味は、悪くない。ここにも、蟹カマボコが、メインの具として、君臨しているが、鶏肉を一片と椎茸を入れてくれたほうが、僕は嬉しいと思う。

結構な、仕上がりの味だが、何処かで、体験した味。

茶碗蒸しの作り方を知らないから言います。水にダシの素と卵を入れて、蟹カマボコを入れて、蒸しただけのような気もする。

シシャモのから揚げ・・・硬くて、病み上がりの歯では、とても噛めない。揚げ物は、揚げたてが、大事。「硬い」というコメントしかない。

天ぷら・・・これも、何故か、ちくわの天ぷら。一口食べて、「油の臭さが口の中に充満する。」自分では作れないが、多分、「油の温度」又は、「油の質」に問題あり。

やっぱり、buffetでこの値段だと、こんなものかと思った。

「特別に、美味しくなくても良いから、せめて不味くないものを食べたい。」と思う。

高いのか、安いのか分からないが、二人で飲み物代込みで、300バーツとちょっとの味。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

4月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

車を買いたい

2008,4,28

ダムさんに車を購入させることにした。
 実家への送金金額を最小限にするというのが、目的である。
 せっかくの稼ぎが、全部実家の仕送りへと消えていくことが非常に不満なので、結局は大きな買い物をさせて、借金を作る方が、一番の方法だと考えたからだ。
 まあ、実家に問題が起こった時は、車を売ることになるのだろうが、さすがに現金（貯金）で持っているよりも、可能性としては少ないと思ったからである。

中古にしようか、新車にしようか悩み、中古車市場を見に行った。
 日本なら・・・と比べても仕方が無いが、あり得ないボロ車が売られている。

大体の相場だが、10万パーツ-20万パーツの車は、15年くらいの車。えー、走るの？という感じ。また、綺麗に、塗装しなおしてあるが、かえてそれが怪しさを増す。

20万パーツ - 30万パーツの車は、7年 - 10年乗った車。メーターが8万キロとなっていたが、それも怪しい。だって、僕の車が、2004年の購入で、既に7万キロを走っているのだ。

綺麗な車だなーって思うと、2004年-2006年の車。
 1500CCクラスだと新車で60万パーツ少しという値段。
 このクラスで、40万パーツ-50万パーツの販売価格。

だったら、あと10万パーツ出して、新車を買いたいと思うのが、普通の人の考え方だと思う。いずれにしても、中古市場は、異常な値段である。

車は、財産なのである。

最近、マツダ 3 という車を購入したいと考えているが、中古車が販売価格が高いので、日本円で100万円ほど足したら、新車を購入できるかもしれないと考えている。



体調がすぐれず

2008,4,23



日本帰国後、体調が優れない日々が続いている。
咳が出たり、のどが痛いというのが症状であるが、その他にも、疲れがたまっている感じで、睡眠時間がやたらと長くなっている。

昨夜も、8時消灯という小学生並みの就寝時間であるが、遅刻しそうなくらいの時間帯に起きた。
ちなみに、便秘気味の状態も続いているが、薬を飲むと、深夜に、何度も起きてトイレに行かなければならないのが、嫌で、薬を飲まずにいる。

日本へ帰国すると言うのも、本当にストレスの貯まるものだと感じた。
特に、タイ人を一緒に連れていたから、余計にそうなのかもしれない。

風邪薬は、眠くなるので、抗生物質だけの2日ほど飲んでいるが、1日中だるくて眠い。

そんな時に、限って、仕事が忙しいという最悪の状態である。
がんばったお陰で、今日ぐらいからやっと「仕事が片付いてきた。」気がする。



トニーっ子

2008,4,21



フィットネスクラブ「トニー」に通い始めて、丁度1年になる。
一生会員で1万5千バーツという信じられない値段設定であるが、1年間は、店もなくならずに、営業を続けているので、一安心である。

なお、このには、大勢の外国人が働いている。
外国人と言っても、近隣諸国の外国人で、ミャンマー人がほとんどである。
可愛い子だけ、お友達になるので、ごく一部の子とは非常に親しい。

最近、何人かが一斉で紙を茶色に染めた。
しかも、前髪のほうだけである。
髪型は違えど、同じような染め方をしているのも可笑しな者である。

受付やインストラクターは、タイ人で、ミャンマー人たちは、メイド課に属する。
いわゆる、掃除や雑用を一気に引き受ける人材である。

昨日、可愛い子が居たので、話しかけたら、タイ語も全く通じず。
「ミャンマー？」と聞いたら、「ノー。カレン」という。
カレン族の事だと理解した。

ミャンマーの子もそうだが、カレン族の子も同じである。
年齢より、見た目が若い。
僕の感覚だが、途上国に行けば行くほど「成長は遅く、老化が早い。」と思う。
カレンの子は、どうみても、15-6歳にしか見えないが、21歳だという。

数え方が、違ってんじゃないのかーともふと思った。
パタヤ・・・ファランが目につくことで、国際的なことをアピールする。
働いている方も、十分に国際的らしい。



ソクラーンの休みを利用して、日本へ一時帰国した。

一時帰国の言葉に相応しく、たったの5日間の滞在。

「日本へ買い物に行ってきた。」というのが、正直なところだが、1年ぶりの日本は、さまざまなことを考えさせられた。

タイ在住6年半というのが、今の自分である。

もう、日本では暮らせないと強き思いを強く抱いた。

まずは、身体的なこと・・・冬のような乾燥度ではなかったと思うが、肌が乾燥して困った。唇・全身含め、まさに、カサカサという状態。

いつでも毛穴全開のタイに居るからかもしれないが、乾燥皮膚は、ちょっと困る。老化スピードも速まる気がする。

もう一つ、身体上、困ったことがある。

日本に行き、日本食を食べたら、便秘した。

おなかの中に、すごい何日分もの「お土産」を持って帰ることとなった。

タイでは、便秘の薬など不要な薬であるが、日本では、生活常備薬になりうそうだ。

規律のこと・・・成田で携帯をレンタルした。それで、電車の中から、「今、 駅を出たところだから・・・」という電話をした。その友人とあって、開口一番で言われたのは、「今は、電車の中で電話しちゃ、駄目なんだよー。ー。」って・・・「誰からも、何も言われなかった？」と質問された。電車の中で、1分ほど電話したぐらいで、うるさく言う人が居るんだと思った。

その他、ゴミも含めて、「社会的ルール」や「マナー」が厳しすぎると思う。

何もなくて、生活しているだけで、ストレスが貯まりそうな国だと思った。

狭さ・・・日本は、何処へ行っても狭いと感じた。

普段、ロータスやBIG-Cといった海外系のショッピングセンターで買い物するのに、慣れてしまっているから特にそう思うのかもしれない。

電気店やスーパー・激安店に行っても、籠を持って、人とすれ違う時に、最新の注意が必要である。また、ポケーっと見ると、陳列している商品に籠があたって、どかっと落とすような気もしたりして、何だが、落ち着かない。

トイレも狭いし、道も狭い。

こんな道に、バスが走るんだーって驚いたりもした。

狭いと言うのは、ストレスを感じることだと思う。

便秘の原因も「狭いトイレ」かもしれない。

日本では、居心地良く、過ごせそうもないということを実感した。

以前は、最後は、日本人だから、日本に帰れば、何とかなるだろう・・・と思っていた。

しかし、「帰りたくない」と強き思いを強く持った。

「帰りたくない」と強き意味は、タイが大好きになったというより、日本が、嫌になったということだろう。

まあ、タイで、頑張らなきゃという事ですね。

-



タイ人は、不健康な人たちだと思う。
 会社で健康診断があった。
 新しい会社で、タイ人スタッフで、40歳を超える年齢は、いない。
 ワーカーさんだと20代の女性。
 管理職で30代の男性が、ぼつぼつと居る程度。
 なんと、肝機能の数値が超えている人が、10%以上
 30代で、高血圧と診断されている人が数名。
 恐ろしい結果である。

しかし、健康診断なので、自覚症状は無い。
 今すぐに病院に行く必要もないし、行く予定もないらしい。

汗をかくのが嫌な人たち = 運動しない。
 揚げ物・肉食が大好きな人たち。
 調味料が大好きな人たち。

健康診断で要注意がでるとしたら、よく理解できる。

タイに生活し、同じものを食べているので、自分の身体も、同じようにまずいかなーーと思っている。
 しかし、特別に「長生きしても仕方ないしな。」と思えば、そんなものかもしれない。

それにしても、見た目だけではなく、タイ人の老化度は、日本人と比べて10年以上は早い気がする。



準備

2008,4,6



日本行きが近づいてきた。
 全く何も準備していないので、急いで準備をする。
 スワナプーム行きのタクシーの予約も今回は、少し早めにした。
 今まで、仕事が終わってからパタヤに来て、それからタクシーの予約をしていた。
 パタヤの街中には、タクシー手配の看板がいっぱいあり、ジヨムティアンに出れば、あちこち目にする。
 20時頃タクシーを手配し、夜中の3時に家まで迎えに来てもらう。
 何日後の事よりも、「今夜のタクシーの手配」の方が、確実に来ると思ったからだ。
 しかし、毎回、「途中で止まらないか？」不安になるような車ばかりであった。
 今回は、日本人が在中する旅行会社へ頼んだ。
 新空港は、パタヤから1時間30分ぐらいの場所で、値段も1,100バーツだった。
 予想より、安い値段だったが、去年はいくらだったか？とふと思った。
 ちゃんとした車が来たら、友人にも紹介してあげようと思った。

タイ国内は、何とかなるとして、短い滞在で、効率よく要件を済ませることが大切である。
 職場から、国際電話をかけ、急遽、確認作業をする。

- 1.健康保険被保険者・家族療養費支給・・・尿酸値や歯科に罹ったが、どれも対象外。しかし、日本の健康保険なら、自己負担分を差し引いた金額が戻ってくると言うことで、せこく申請書を出すことに。しかし、申請書がややこしく、ネットで見本を探したり、面倒くさかった。最近の年金問題で、日本の役所は、「申請主義」という言葉をよく耳にするが、真性の途中で、面倒くさくなって、諦めさせるのを待っているかのようである。
- 2.外国送金の準備・・・今回、小額ではあるが、初めて外貨送金をしようと思う。ダム家の事で、色々書いたが、実は、ゴミコンドをもう一部屋ぐらい・・・と思っている。レートは悪いが、小額なら良いかと思ひ、ゴミコンド1部屋分の外貨送金をしようと考えた。

準備するものは、1 本人確認 2. 送金の目的 3. 原資確認の3つとのこと。 本人確認は、免許書又はパスポートでよし。送金の目的だが、どうしても、コンド購入と書いてもらいたいが、契約書等がな

い。「買いたい物件は、決まっているが、まだ、契約まで達していないといったら、タイに住んでいる証明は、できますか？と聞かれたので、労働許可書で良いか？と質問したら、それで結構ですと言われた。送金の目的が、労働許可書であるという意味が分からないが、自分名義の口座から自分名義の口座へ送金することも、何度も確認された。原資の確認について、口座番号を言うと、毎月決まった額が留守宅手当てとして振り込まれていますと伝えると、銀行側もすぐに確認し、原資の証明は、通帳を持っていけば、終了である。

3.年金の暗証番号 海外に住んでいるので、とにかくネットで出来ることはネットでやらなければならない。年金に関して、暗証番号を申し込み、その暗証番号で、自分の年金記録が見れるらしい。早期リタイヤしか頭がない自分は、自分の年金に関しては、敏感である。ネットで、確認できるように申し込んだが、今回の滞在中に届いているかは、不明。まあ、後で、暗証番号だけ教えてもらえば済むことだ。



ダム家お帰り

2008,4,5



ダム家がお帰りになった。

ダムさん、車で田舎まで送っていったので、久々に、スニーっ子とどっぴり2日間を過ごした。昨年末から、ダムさん不在の時は、いつも同じ子。

僕の場合、好みが、特殊傾向なので、いつ行ってもOFFされず働いている。

どうも、スニーっ子も、20歳に近い子と遊べば、それなりに、常識があり、一緒に居ても苦痛ではないようだ。

この子と、ビールを何本飲み明かしたことが・・・家で飲んだほかに、カラオケに行って、ビールを5-6本飲んだ気がする。スニーっ子と一緒にだから、青空カラオケで、1曲5パーツに、シン八大瓶が100パーツという値段である。

今回の、スニーっ子は、ノンケであるが、面白いことを聞いた。

彼の考え方であり、一般的かどうかは、別である。

絶対にOFFされて嫌なのは、タイ人だと言う。

幸いにも、11月から働いているが、タイ人にOFFされたことはないという。

タイ人のSPECでは無いから・・・と笑う。

なるほど、確かに、タイ人のSPECではない。

「タイ人にOFFされたくない。」と言う意味は、なんとなく理解できる。

少なからず、お金の稼ぎ方に恥ずかしさがあるのかもしれない。

外国人なら、エイリアンだから、「まあ良いか」ということもあると思う。

男としてのプライドかな？

もう一つ、彼が不愉快に思っていることは、お金をパンツにねじ込む客。

お金を入れるというか、それを目当てに、触ったり、覗いたりということだろう。

お金には、王様の顔があり、「どうしてそんなことをするのか理解できない。」と言っていた。物(お金も含め)渡す時は、目の前に差し出すのが正解で、パンツにねじ込むのは、明らかにおかしい。

久しぶりに、「昔のタイ人」に会った気がした。

一時、スニーっ子は、お姉さんが良いと思っていた。

Hのサービスが抜群だからだ。

若いノン気は、大の字で寝ているだけ。

今回、何度も指名している理由は、寝てるだけではなく、ちゃんと仕事をしてくれるということ。

たまにいるんだよね。ノンケだけでも、スケベな奴って。

まさに、この子です。



ダム家が、家族でパタヤのコンドにご滞在中である。
ここまで送ってきた姉が帰ったことで、3名様にご滞在中。
それは、いつもの事なので、「よし」として、問題は、金銭がらみである。

遊びに来たのか、お金を貰いに来たのか、定かではない。

ここまで連れてきた姉に2500パーツ貸した。
おばさんに、3000パーツの毎月の定額の小遣いを渡した。
おばあさんに、臨時で、1500パーツの小遣いを渡した。
おばさんに、4万パーツを貸した。
金(ゴールド)を買ってくれと言われ、金を買わされる。(僕には、お金が無いので、売らなければいけないが、勿体無い・惜しいから、身内に売ると言っていた。)
それ以外に、約10日間の滞在費・行きかえりの交通費、甥っ子のお土産・・・大変な出費である。

まあ、ダムさんの甲斐性でやることだから、私は目をつぶりたいと言いたい。
ちなみに、貸したと言っても、返ってくるはずもない。
どうして、「借りる」ということばと「貸す」と言う言葉を使うのか分からない。
「くれ」「あげる」の方が、よほどさっぱりしている気がする。
ちなみに、姉は、農家の雇われ作業員であり、一日の日当は150パーツ。

しかし、一つだけ、納得できないお金がある。
4万パーツである。

何でも、農業に必要な投資とっているが、田舎では、1年分の収入に該当する金額である。何より、何も言う気がしないのは、28%もの高利子でダムさんが借りて、その借りたお金をおばさんに貸したのである。
タイ人の考え方からすると、

- 1.貸してくれといわれたから断れない。しかも、身内である。
- 2.自分の定期預金は、これ以上、どうしても減らしたくない。
- 3.きちんとした日系企業に勤務しているので、銀行カードから、給料の2か月分ぐらいは借りられる。
- 4.だったら、借りたお金で、貸してあげよう。
- 5.返済は、何とかなるだろう。

ちなみに、現在、定期預金の金利は、2.5%
これを解約して貸せば良いと思うが、28%の金利で借りて貸すというお馬鹿な行為を行った。当然、4万パーツで貸したお金は、4万パーツ返ってくれば、上出来であり、何年後の事かも分からない。

ダムさんとダム家のお金の問題は、僕は、一切、関与していないので、関係ないと思いたい。しかし、借金をしてまで・・・という感じになると、話しは別である。

毎月の小遣い・困った時の援助・電化製品の故障の際の援助・バイクが故障した時の援助・農業事業に対する援助・将来の保険(生命保険の援助)・行事の時の援助・・・もう、キリがない。

現在、自分に経済的ゆとりがあるので、ダムさんに中古車を買う為の、頭金ぐらいは・・・とも考えるが、ダムさんを起因とするのではなく、ダム家の理由であつという間に売ることになりそうで・・・あげる物に関して、考えていても仕方がないが、結局は、ダム家に持っていかれると思うと嫌で仕方がない。

それにしても、自分の給料のほとんどを又は、それ以上を家族の為に捧げるタイ人の思考回路が分からない。



10日後は、日本

2008,4,2



今年も、日本行きが近づいてきた。
去年のソクランに帰省して以来なので、丁度一年ぶり。
一年前の顔ぶれと同じで、3名での帰省。
とりあえず、1年前と変わらぬメンバーで帰国できることを良しとしなければならない。

帰省にあたり、買いたいもの・やりたいこと（やらなければいけないこと）が、山ほど思い浮かんでくる。

逆に、怖いこともある。

日本が、どんどん発展しているが、自分の中での常識や考えは、日本を飛び立った7年前のままであることである。

日本に帰省したとき、必ずといって良いほど、戸惑うことがある。

無人のガソリンスタンド（セルフサービス）に入った時、どうすれば良いか、分からない。

高速道路を出る時に、無人サービスのコーナーとお金を払うコーナーがあると、どっちに行けば良いか、分からない。

JRや、地下鉄で、切符以外の不思議なカードを通してている。

数えたらキリがない。日本社会の変化するスピードは、速い。

特に、この3 - 4年は、田舎生活をしているので、情報から遠ざかった生活をしている。

ちなみに、タイで生活している僕が、日本で購入を必要とするものは、何かと言えば、ズバリ、衣類である。薬品で、日本で購入しなければならないものは、ハードコンタクトの液体ぐらいであとは、現地のものでOK。日用品で、特に日本でしか手に入らないものはない。食品は、あれば嬉しいが、何が何でもというわけではないし、最近、パタヤにも出店したピラ・ス・パーに行けば、調味料も含め、何でも手に入る。残るは、衣料品である。

衣料品は、あふれている国であると思うし、必要なものは決まっている。日本のように四季が無いので、日本で言う夏物衣料しか必要ではない。何故、日本で購入しなければならないかといえば、やはり品質である。

やはり、日本人なのである。日本で買うものが、自分にあっているらしい。

別にデザインが・・・という問題ではない。そして、購入するものも、制服の下に着るランニングとか、靴下とかパンツという部類である。

しかし、衣類は、日本で購入するに限る。



今年の結果は？

2008,4,1



年に一度の健康診断を行った。
今年も、尿酸値も含めて、すべてパーフェクトだった。
つい数年前までは、健康診断で正常値を外れるということなど考えたこともなかったが、40歳を目の前にして、健康診断で、正常値を外れる又は、ギリギリセーフと言う状態が続いたので、全部OKと言われても、逆に不思議な感じがする。

原因の全ては、ビール=アルコールであることは、自覚している。
「浴びるほどの飲む生活」から、「気持ちよく飲む」になってきた。
次は、「飲酒の習慣を辞める」が目標である。
飲酒の習慣を辞める為に、今の田舎の生活を何とか改善したいとは考えている。
まあ、意思の強さがあれば、すぐにでも改善できる話です。
多分、フィットネスの習慣も、良い結果であった要因の一つであると思う。

そういえば、今月で、トニー・フィットネスの会員となって1年が経とうとしている。
休みの度に、通っていることを考えたら、やはり一生会員は、お得であると思う。
最近も、逆に、「お金を使ってあげること。」を考えており、夕方以降に卓球をして、電気代の100パーツを支払ったり、スパゲティーやサンドイッチを注文したりして、ほんのわずかでも売上に貢献し、潰れないように祈っている。

さあ、今日は、健康診断の結果が良かったことに対して、祝杯をあげよう。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

5月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

クーデターの噂

2008,5,29



クーデターの噂が持ち上がっている。
 2006年9月に反タクシン派が、クーデターを起こした。
 その後、軍が暫定政権となり、2007年に憲法改正をした。
 今回、民政後の、与党であるパラン・プラチャーシオン党が、2007年の憲法の改正案を提出していることが原因らしい。
 「憲法を再び改正することは、クーデターを無意味にすることである」というのが、反対勢力の言い分のようなようだ。
 しかし、噂の域とはいえ、「クーデターが起こる」なんて、軽々しく言うよなーって思う。
 無血クーデターで、戦車と記念撮影のクーデターとはいえ、「革命」であることには変わり無く、国際社会の見る目は・・・
 事実、臨時的とはいえ、軍事政権といえ、近隣の「途上国」と同じである。
 そこまで、お馬鹿ではないだろうとは思っているが、集会がはじまっていることも事実である。
 全く、無関係であるとは思いますが、原油価格の値上がり、米価格の高騰で、確かに物価は上がっている。その鬱憤を晴らすような形での、「集会」・「クーデターの噂」であると思う。

前回、クーデターが発生した時は、すごく驚いた。
 TVが占領され、どのチャンネルも同じ内容が放映されているのを見た時は、正直、驚いた。
 しかし、時間が経つにつれて、「タイ式・クーデター」ということが理解でき、落ち着いた。
 今、クーデターが再度起こったとしても、「全く動揺しないであろう。」と思う。

人間、慣れとは恐ろしいものである。



タイでも、自動車運転中の携帯電話の使用が禁止された。
5月8日より施行され、6月20日以降は、罰金400バーツ-1000バーツだそうである。

一時、免許書の減点制度が始まったと聞いたことがあるが、実務上は、なって居ない気がする。
ちなみに、現行犯でなくとも、「警備カメラに写っていた場合、後日、罰金を支払う。」という決まりらしい。タイの場合、郵便制度が必ずしも良いとは、思わない（郵便が届かない場合もある）また、日本のような「転居連絡制度」もないような気がするので、車両ナンバーから、違反者に手紙を送ると言うこと自体に、無理があるようなきがしてならない。

タイの場合、よく考えない人が、「制度」を作るもんだから、結局は、「尻切れトンボ」になることが多い。

犯罪に利用されることを理由として、携帯電話登録制という事も、騒がれたが、今は？
運転免許書の減点制度に関しても？

多分、運転中の携帯電話もいつの間にかうやむやになるようなきがしてならない。

まあ、現行犯で罰金を支払うということはあるとは思うけど・・・写真に取って、後日罰金を徴収ということは、あり得ないと思ってしまう。

-



友人が、パタヤに遊びに来た。
バンコク以外の地方で暮らすNさんは、パタヤでの生活も視野に入れているようだ。
それで、コンド巡りをした。

ジョムティアンのコンドを買ったのは、2006年3月

逆算すると、2005年から2006年にかけて、パタヤにあるコンドは、かなり下見をしたことになる。
大きな買い物をする場合、買うまでが楽しくて、色々な想像を膨らまし、買った後は、現実的な話になってしまう。

徐々に、コンド巡りをして驚いたのは、確実に売買価格が値上がりしていることである。
ゴミコンドも、去年から比べて、25-30%も値上がりしていた。（家賃相場は、変わらない）
ゴミコンドは、元々が安いので、特別扱いとしても、どのコンドも、僕の頭にある価格（2005年の価格）よりも、20-30%は値上がりしていた。
3年分古くなっていても、2割-3割も値段が上昇している。
まさに、タイの中古市場の現状である。

友人と、コンド巡りをして感じたのは、友人と僕とで、選択する視点が全く違うこと。
ここは、譲れないという点が、全く違うこと。

友人Nさんが、住むにあたり、重点的に確認することは、ベランダ越しに、泥棒が入ってこれない造りであること。隣のベランダとの距離を確認して、「ここは、隣から簡単に入られる。」とチェック・・・僕は、そんなこと考えたことも無かった。
「隣の住人が、泥棒に入るわけ無いじゃん。」と言ったら。「隣の隣から・・・、ずっと伝って来るかもしれない。」って・・・そう言われて、妙に納得。
その証拠に、タイのアパートで、ベランダに鉄格子？が付いているベランダを良く見かける。「泥棒避け」であることは、理解するが、自分は、鉄格子付きのベランダの部屋には、住みたくない。そういえば、ゴミコンドにも付いている。

僕が、こだわるポイントは、廊下の匂いとトイレの通気性。

安い・古い・汚いコンドは、「廊下に貧乏の匂い。」がする。「貧乏の匂い」というと、差別だと怒られそうだが、かび臭い、何とも表現できない匂いがする。

原因は、下級のコンドになればなる程、スペースに対する人の密度が多くなることと、共有スペース自体が狭いこと。また、泥棒避けのため、廊下の端も締め切っていることが多く、廊下の通気性が悪い。

もう一つのこだわりは、トイレの通気性。

トイレは、濡れるのだ。トイレは、タイ語で、ホン・ナムと言う。(水の部屋)である。

トイレは、できれば、ベランダと面してて、換気用窓が欲しい。廊下側にあってもいいが、換気窓が欲しい。窓がなく、換気扇だけだとNG。

初めてタイに住み始めた6年前の、1箇所目のアパートが、まさに、トイレの換気の悪いアパートだった。すぐに、トイレがカビだらけになった。

それ以降、トイレの換気が気になって仕方ない。

全部で、10軒ほど見たらどうか。

2006年に買う時に、最後まで候補として残ったコンドも見たが、「買わなくて正解だった。」というのが、正直な感想。

そして、「2006年の買い物は、正解だった。」ことを実感した。

場所的に、少し街中から遠いが、それを除けば、今居るコンドが、僕の一番の「快適な場所である。」というのが、僕の最終的な感想となった。

それにしても、中古価格、どんどん上がりますなー。

バブルじゃないと思うが、タイ人は、買った値段より安く売らないということと、物価は上昇するばかりだから、高くなって当然と考えている。

ゴミコンド、去年、もう二つぐらい、買っておけば良かったとちょっぴり後悔。

スニー情報

2008,5,18



全く関係ありませんが、スニー情報です。

5月17-19日まで、3連休だった。

スニーにも何度か足を運んだが、ゴーゴーは、ほとんど閉まっていた。

何でも、パタヤの警察ではなく、バンコクから警察(又は役所)が来て、取りしまったらしい。パタヤの警察ならば、何とかなるが、バンコクからでは、何ともならないらしい。取締りが入れれば、法廷年齢以下の労働者がいるのは、当たり前のスニーという土地柄。

それで、5月いっぱい、閉まっているらしい。(2週間の営業停止という理解でいいと思う。)

ちなみに、カオス・グットボーイ・サンデーも閉まっていた。

確か、ユーロも閉まっていた気がする。

ソイの入り口のコンビニの横のゴーゴー(名前は忘れた。)も閉まっていた気がする。

偶然かどうかは、分からないが、かなり静かなスニー界隈となっている。

ちなみに、「ドイツ人教師が、捕まった」とか「イギリス人が捕まった」とかいうニュースも最近よく耳にする。

外国人として、生活をしているので、「法規遵守」は、常に頭にある。

「国外追放」とか、「再入国不可」ということになりたくないからである。

自信が無いことと言えば、飲 運転と、法定年齢未満の子かな(笑)



日本でも、預金保証額の話（ペイオフ）が、新聞や雑誌を賑わせていた時があった気がする。当時は、預金がほとんど無かったので、僕には、関係のない出来事で、無関心であった。

同様の法律が、タイでも2007年12月19日に可決され、2008年2月13日に公示された。（8月11日より施行）

現行、預金は、全額保護されているが、今後、段階的に引き下げられ、5年目以降の2012年の8月からは、100万バーツまでしか、保護されない。

ちなみに、段階的とは？

1年目（2008年8月11日以降）	全額保護
2年目（2009年8月11日以降）	1億バーツ
3年目（2010年8月11日以降）	5千万バーツ
4年目（2011年8月11日以降）	1千万バーツ
5年目（2012年8月12日以降）	百万バーツ

ところで、100万バーツの根拠はというと、100万バーツ以下の預金者が、98.5%を占めているためと説明文に書いてあった。

実は、僕は、現在、ほとんどの預金をタイ（バーツ）で持っている。

その理由は、バーツの方が、定期預金の金利が良いこと。（現在、2.5%の利率。個人の場合、15%の源泉税が差し引かれる。）そして、一番の理由は、収入の大部分をバーツで得ていること。

タイにずっと住んでいたいと考えているので、特に日本に送金することも無く、バーツの預金高だけが増えている。

5年後とはいえ、100万バーツまでしか保証されないとなると、困ったものである。

確かに、いくらタイとはいえ、銀行が倒産と言うことはあまり考えられない気がする。

しかし、心のどこかで、タイという国・タイ人を信用していない自分が存在するので、2012年（5年後）からは、複数の銀行に預けるべきであると考えます。

これを機会に、日本に送金しようかなーとも思う。

しかし、「お金が働いてくれる。」ことを考えると、日本で貯金するほど、もったいない話は無い。かといって、投資や外貨預金をするほどの知識も持ち合わせていない。

結局は、地味に、タイで預金をする銀行を分散すること、一部は日本へということになるのだろう。

まあ、5年先の話だから、今は、深くは考えないようにしよう。



今の会社に入社して、丸4年が経過した。

不思議なことだが、好きでタイにやって来て、タイで就職を希望した人。

つまり、「現地採用」と呼ばれる人で、同じ会社で、長く勤務している人は、あまり居ない。

どちらかと言うと、短期間で、転々と職を変えているという人が多い。

その理由は、やはり給料面や待遇面にあると思う。

日本人と言っても、タイで採用されたので、タイ人と同じ給料体系だったり、少なくとも日本からの派遣社員（いわゆる駐在員）との待遇差は大きい。

給料が安いと言っても、日本人である以上、ある程度の働きを求められ、なおかつ、言葉が出来るので、調整役としても期待され、結局は「嫌になって辞める。」場合が多い。

今は、「駐在員」という身分を頂いているが、「現地採用」としてスタートしたこの会社で、丸4年も働けたことを喜ばしく思う。

あと、何年、日系企業で会社員をやるかは分からないが、4年という期間は、少なくとも、「タイで働いた経験があります。」と言えるだけの年月ではないかと思う。

ルーティンな日々に、「生活を変えたい」と思うこともやたらと多いが、経済的理由から、今は、ここで働くのが最も良い選択肢だと思っている。

親しい友人には、「今年いっぱい、ここを辞める。」ということをやたらと前々から言い続けている。その理由は、今年の年末には、ある程度の金銭的な余裕もでき、いわゆる「店番程度の仕事」とか「給料が安くても、ご気楽な仕事」という選択肢も、可能であると思うからだ。

「サバーナ生活を送ろうよ。」「ここは、タイランド、何とかなるさ。」という悪魔のささやきが意思の弱い僕にささやく。

その一方で、「日本人としての真面目気質」君が、「今が、働き盛り（稼ぎ時）。年取って、金が無かったらどうするんだ。これ以上の、収入を得られる会社はないぞ。」「1年間働けば、3年間遊べるだけの貯金ができるじゃないか。」とささやく。

半年後に、どういう決断をしているのかが、自分でも楽しみである。

ちなみに、日本を出発した時点で、「世間体」とか、「周りがどう見るか」とかということがないから楽である。他人に迷惑のかからないサバーイな生き方ができれば良いからである。

田舎生活も丸4年経ち、限界かなーとも感じているし、4年という経験を積んだお陰で、「食うには、困らないだろう。」とも思っている。

4年と言う田舎生活を長いと考えるか短いと考えるかは、人それぞれであろう。

まあ、転職する人が多いタイの労働事情の中で、良く頑張ったほうだと思う。

無事に、4年間勤務し、5年目に突入することに、感謝。



物価上昇

2008,5,13



物価が上がったなーーと感じることが多い。

ガソリン価格の高騰は、世界的なことだが、気がつけば、35バーツ/リットルである。

以前は、空に近い状態で、ガソリンを入れても1000バーツ程度だったのが、今では、1000バーツでは、とても満タンには届かない。

ガソリンを入れた直後には、ガソリン節約の為に運転（スピードを出しすぎないとか、追い越を控える）とかやってみるのだが、1日経てば、元の通りの運転。

ガソリンの他にも、米が高騰しているらしい。

タイは、食べ物が安い国だという印象がある。

食うには、困らない国であるという実感がある。

しかし、主食である米が高騰しているようだ。

タイに住んで、6年間・・・自分でお米を炊いたことはない。

外で炊いた米を買ってくる場合、ビニール袋に入った1人前のご飯は、5バーツであった。

何年間も変わらずに、その値段だった。

しかし、昨日、何気なく、ダムさんに聞いたら、一袋7バーツだそう。

5バーツでも7バーツでも良いが、その次の言葉に驚いた。

「ホーム・マリだと一袋10バーツ。でも、この7バーツの米で十分に食べられるでしょ。」

つまり、結局は、5バーツから10バーツに倍に値上がりしているということである。

最低の米を買ってきたから、7バーツで済んでいるということである。

5バーツでも7バーツでも10バーツでも良いが、米代を3バーツ節約して、安い米を選択しなくても良いのになーーって思った。

タイは、毎日買うものが安い。

毎日買うものというのは、交通費と食費である。

最新技術製品は、日本よりも高い。

車や、電化製品が代表的である。

ガソリン代と米代の高騰で、毎日買うものの激安感が薄れてきた気がする。
衣類を日本で買いためする理由を考えると、品質・値段・サービス等を考えると、日本の物価とタイの物価とどちらが安いと言う比較は、出来ないんじゃないかと思う。
安くてもねー、使えなきゃ意味がないし、良い物を欲しいと思ったら、安くないんだよねー
ってというのが、結論。

日本には、31歳まで住んでいたのだが、「物価の上昇」を肌で感じることはなかった。
タイに来て6年、確実に「物の値段は、上がる。」「発達・発展する。」ということを実感する。
ちなみに、2年前に購入したコンドミニウム（ゴミコンドではありません。）
ジョムティアンの外れの方にある。2年前は、ジョムティアンビーチ沿いまで行かないと、セブンイレブンは無かった。しかし、あっという間に、ジョムティアンからスクンビットまでの1キロメートルほどの距離の道に、3件ものコンビニができ、商業用住宅（アカーン・パニット）は、10棟（1棟で6-7軒）以上、出来上がった。
こんなに作って、売れるのかな？とっていたが、意外に？売れ行きは良いらしい。

発達・発展を感じると共に、物価上昇を感じる。

空き部屋

2008,5,12 

ゴミコンドが空いているという話をしたばかりであるが、ダムさんの友人が、バンコクからパタヤに住むことになり、あっさり住人が決まった。

他人事だから、あまり干渉する気はないが、ダムさんと同じ大学を卒業後、定職に付かず（付けず？）
ディスコでアルバイトをし、生活が厳しいと考え、パタヤでファランを見つけるために引越ししてきたというのが、引越しの理由。

大学を卒業しても、スタート（就職活動）でつまずいた場合は、結局は、どうしようもないようだ。4年間の学費と生活費は、奨学金と言う名前の「借金」として残るだけである。

ちなみに、この話を、知人にしたところ、タイ在住暦が、僕よりも長い友人は、「パタヤでファランを見つけるのは、宝くじを当てるよりも、よほど確率が良い。」だから、不思議な話でもないと言った。
「サバァイ」な生活とは、「仕事をしなくても食っていけること。」「生活の面倒を見てくれる人が居ること。」という風に考えれば、正解かもしれない。

まあ、その同級生の生活がどうなろうと、僕には、無関係として、お金に関しては、タイ人は、タイ人を信用していないということを今回も痛感した。

ダムさん、貸した部屋に関して「自分たちの部屋である。」「自分たちが部屋のオーナーである」ということをその友人に隠し通した。「もし分かったら、家賃など、期日に払うわけがない。」ということである。一緒に遊びに行くが、遊びに行くことと、お金のことは、別物らしい。

確かに、これまで、いくら不良債権を作ってきたか、分からない人である。
つまり、友人に金を貸して、返却されなかったケースが、ほとんどである。

結局は、今まで同様に、管理事務所を通して、契約し、何も知らない振りをすることにした。「こんなコンドがあるよー」っていう情報と、「管理事務所の事務員の　さんが知り合いだから、そこにいけば、部屋を紹介してくれるはず。」ということで紹介しただけという設定。

管理事務所には、「　という人物が、空き部屋がないか？と行くから、僕の部屋を紹介するよう
に・・・」と依頼した。

自分たちが、オーナーであることは、ダムさんの友人は、知らないまま。当然として、管理事務所は、毎月の家賃から、家賃徴収手数料？の200パーセントを引いた金額がNETの家賃収入である。管理事務所が仲介している場合、借主は、家賃が払えないと、電気が止められ、数日後には、合鍵を使って、掃除婦が、

部屋の荷物を全部外に出すという徹底振りで徴収する。そこまでしないと、部屋代は、徴収できないと言うことだろう。

さて、ダムさんの友人、「家具が無いもない」ということで、オフィスにクレームを付けてきた。「家具3点セット(ベッド、洋服ダンス、鏡台)は6000パーツちゅっと」だったので、購入を決めた。

数日後、久しぶりに部屋の中も見たかったのと、どんな家具が入ったのかを見たくて、訪問した。

驚いたことに、2人で住んでいる部屋の荷物は、何も無かった。

お金が無いと言う理由で、何も買えないのは、理解できるが、新品のベッドなのに、シーツも敷かず、マットレスの上に、そのまま寝ていた。

しかも、毛布もない。

これには、参ってしまった。

急いで、家に余っているシーツをあげるように言った。

マットレスに直接寝ていたことがかなり気になってしまい、「見なきゃ良かった。」と思った。

それにしても、大学卒業した25歳の若者のすべてを含めた財産は、これだけかと思った。

家だ・車だと言う話はおろか、TVやバイクもない(バンコクで生活していたから、バイクは、必要なかったかもしれない。)

そんな訳で、とりあえず、二部屋共にお客が入ったことになる。

今回は、家具にお金がかかったので、3ヶ月は、家具代となる。

前回は書いたかもしれないが、投資物件であるゴミコンド・・・あまり細かく計算すると、効率良い投資ではないかもしれない。

何部屋も所有すれば、「毎月、一定額が入ってくる。」という風に考えた方がベストかもしれない。



飽食

2008,5,11



毎日の食事に関して、食べたいものがなくて困っている。

食べるということは、生活の中では、最も楽しみなことのひとつであるはずである。

しかし、「食べたいと思うものがない。」

とある友人と電話で話していた時に、「飽食」という言葉が出た。

タイに来て、6年が経つが、日本に居た時に比べて、まさに「飽食」ということばがピッタリである。

アルコールは、日本に居た頃の10倍以上摂取していると思う。

シーフード関係も、かなりの頻度で食べている。

タイスキも、「飽きた」と言って良いくらい食べている。

焼肉も月に1度ではない。

日本食に飢えていると思っている人もいると思うが、実は、結構食べている。

日本食は、健康食だと言われるが、外食での日本食は、サイコロステーキ・しょうが焼き・かつ・天ぷら等、焼き魚を除いては、ハイカロリーだと思う。

「何が食べたい？」と質問されたら、「納豆ご飯」「野菜のお浸し」「煮物」って答えると思う。まさに、日ごろの食事が「飽食」なのである。

自炊をする生活がしたくて仕方が無いが、今のところ、難しい。

面倒くさいという以前に、平日の田舎のアパートは、「流し台がない。」という大きな欠点がある。

ベランダで、調理をすると言うのも、限界があると思う。

ベランダでしゃがんで皿を洗う姿が、ちょっと恥ずかしい姿である。

パタヤでは、台所?(流し台?)があるので、設備を整えれば、すぐにでも自炊は可能である。

しかし、週に1回や2回帰る家に、道具を揃えるのも馬鹿馬鹿しい。

そんな言い訳ばかりしている間に、「糖尿病」にでもなりそうな気がしてならない。
 「飽食生活」は幸せの証であるが、健康的には良くないのかも（笑）
 「食べたい物がない」というのも、贅沢な悩みである。

こんな田舎に居た---

2008,5,9



今住んでいる田舎のアパートに、3人も日本人が居ることが分かった。（僕を含む）
 「こんな田舎に住んでいるわけがない。」と考えていたが、大きな間違いで、実は、こんな田舎町にも、日本人は居たのである。
 町で、一番高いアパートだから、日本人がこの町に住んでいるとしたら、このアパートである可能性は、非常に高い。

実は、こんな話を聞いたことがある。
 タイは、国際的な国であり、外国人も多い。
 コンド・マンション・アパート等、呼び方はどうであれ、「集合住宅には、外国人が必ず1人は居る。」ということである。

同じアパートに日本人が住んでいるということが分かったが、どうもお知り合いになる気がしない。というのは、「相当の変わり者ではないか」という懸念がする。
 「こんな田舎に住んでいる日本人は、きっと変わった人に違いない。」と思い込んでいる。
 そういう自分も、相手から見たら、そう思われているかもしれない。
 自分の事は、よく分かっているから、正当化できる。「平日に、パタヤまで帰る時間がもったいない。」
 「どうせ、平日は、寝るだけだから。」「ガソリン代を考えたら、アパート代なんて、安いものだ。」
 それに対して、他人の事は、分からないから、ついつい、変な風に考えてしまう。
 自分も、住んでいながらにして、人の事は、「何で、こんな所に住んでいるのだろう？」と謎に思えて仕方がない。

勧誘

2008,5,7



ゴミコンドのことであるが、今度は、安い部屋が空いている。
 もう2ヶ月ぐらい経つと思う。
 買ったばかりの頃は、高い部屋に借り手がなく、困っていた。
 今度は、安い部屋に借り手が付かない。
 とりあえず、空き部屋にしておくのほど勿体ないものはない。
 やはり、（購入価格+内装価格）÷100 という料金設定は、高すぎるのか？
 それとも、ローシーズンなので、パタヤ在住タイ人の数も少なくなっているのか？
 そんなことをしている間に、来月は、共益費を支払わなくてはならない。
 月に200バーツで、年払いで2400バーツというのが、共益費。

緻密に計算をすると、実は、それほど投資効率の良い話ではないような気もするから、深く考えてはいけな
 いと思った。
 まあ、今ぐらいの収入があれば、年に一部屋は買えるから、毎年一部屋ずつというのが良いのかもしれない。
 為替のリスク分散を考えても、毎年1部屋ずつ増やしていく程度が良いのかなーとも思う。

最近、タイ人に会うと、「部屋が空いているから、借りる人を紹介してくれ。」としきりに言っている。
 怪しい勧誘のおじさんのように（笑）



知り合いの知り合いは、知り合い

2008,5,6



「パタヤ在住のお仲間は、何人ぐらいいるのだろうか？」とふと思った。
正直、「お付き合いをしています。」と言うレベルの人は、片手で数えるほどである。
お店をやっている人を除けば、10人ぐらいが「知っている人」又は、「お付き合いをしている人」の合計人数であろう。
パタヤ在住のGの総数は、不明であるが、いつスニーに行っても、見かける人は、在住の人だろうと思っている。
バンコクの日本人社会にさらに輪を掛けて狭い社会が「パタヤ日本人社会」である。
ほとんどの人は、リタイヤした人で、自分らしい生活を送っているようだ。

まあ、何処にでもある話で、「居ない人の、悪口・陰口」もあるようだが、皆、マイペースという感じがする。きつい言い方をすれば、「我が道を行き、あまり人の言うことに耳を傾けない。」傾向はあると思うが、別に、構わないと思う。
周囲の声はやたらとうるさい日本を脱出してきたのだから、「我が道を突き進む」ことは、ある意味大事なことである。
リタイヤ生活の人を見ていると、僕の「早期リタイヤ」という気持ちも吹き飛ばされてしまう。理由は、「パタヤでは、お金がないと楽しくないからである。」
リタイヤ組でも、お金に余裕がありそうな人は、楽しそうに生活をしている気がしてならない。

パタヤの「知り合い日本人」で不思議なことがある。
「住んでいる場所(コンド)」を、名前の次に知っていること。
電話番号知らなくても、名前を言って、「あー、コンドに住んでいる人でしょ。」って会話が始まる。
日本では、あまり無いことである。
それだけ、外国人の住む場所は限られているということだろう。
お仲間の場合、サウスパタヤ~ジョムティアン方面に住んでいる人が多い。
ノースパタヤ~ナークルワにかけて住んでいる人は、少ない。
もっと言えば、スクンビットを超えて(山側に)住んでいる人は、一人しか知らない。

つまり、「日本人社会は、狭い。」というが、狭いと言う意味は、「知り合いの知り合いが知り合い」と言う意味と共に、「限られた場所限定で住んでいる。」という意味もあるということである。同じコンドに、住んでいる場合も、全く珍しいことではない。

「世の中狭い」「日本人社会は狭い」と言うが、週末しか帰っていない僕は、お陰さまで、「狭いなー」って感じることはあまりない。
ただ、誰かのパーティに行くと、出席者は、すべて「知り合い+恋人(又はボーイ)」というケースに遭遇する場合がある。やはり、「日本人G社会は、狭い。」と言わざるを得ない。



ルーティンな休日?

2008,5,5



日本は、ゴールデンウィーク
 パタヤも日本人が目立った。
 夜の街（スニー）でも日本語を良く聞いた。

旅行者でリピーターの方は、よく情報を持っているなーと感心してしまう。
 旅行の前に、十分な情報収集・下調べは、もはや常識なのかもしれない。

ルーティンな休日を過ごしている僕は、2004年からパタヤに住んでいるが、限られた場所以外は、何も知らないという感じである。
 限られた場所とは、自分のコンド・トニーフィットネス・盲人マッサージ・ロータス・お気に入りのレストラン・・・それだけかも・・・

ちなみに、タイも5月1日は、LABOUR DAYで祭日。5日は、チャット・モンコンの日で休みだった。
 徐々に、セントラルパタヤのカルフールに行ったら、売り場のレイアウトが変わっていて、何処に何があるのか、全く分からず、買い物するのを辞めた。

広い店内で、目的の物を探し当てるのが、大変そうに感じたからである。

ここでも、日本人を何人も見かけた。

駐在員夫婦が多かったようだ。

これだけ、品揃えがあれば、自分で料理する人や家族持ちの人には、とりあえず欲しいものは手に入るスーパーなのかもしれない。

しかし、慣れない僕にとっては、あまりに大きすぎて、うんざりする場所である。

結局は、ノースパタヤのロータスで買い物をした。

何処に何があるか、ほとんど把握しているし、ある程度の広さであるので、本当に快適なスーパーだと思う。

というか、行きつけの店が一番と言うことかな。



タイ人としたくない話

2008,5,4



仕事をしていて、一番嫌なことは、タイ人とお金の話をする事。

お金の話 = 給料の話である。

試用期間(119日)が過ぎると正社員となり、その際に、少し給料が上がるのが、暗黙の了解となっている。

今回、119日の試用期間が過ぎても、給料が上がらない子が居た。

彼女は、泣いていた。

日本では、あまり考えられないことかもしれない。

昇給やボーナスに関して、「小額だ。」という理由で、泣く人は居ないと思う。

今回もそうだが、「他の人から、試用期間が過ぎたら、給料が上がるはずと聞いている。」という理由が、泣いている原因である。

本当に慣れたなーと思う。

落ち着いて、「これは、会社の評価結果の判断です。契約書ですので、双方の合意の問題です。サインするかしないかは、ゆっくり考えてもらって良いです。」と回答。

そういわれれば、どうしようもない。泣くしかない。

でも、僕は、非情である。

最高責任者のサインがあり、会社が決定したことに関して、従業員のいうことを聞き、曲げたとしたら、後が大変なのである。

僕は、簡単である。「契約書だから、サインするかしないかは、あなたが決めれば良い事。」である。可愛そうだと思う。

しかし、そもそも、試用期間が終了して、給料が上がらないというのは、まれであり、それだけの価値の人なのである。

大部分の方は、そうであるが、「自分では、最大限、がんばっていると思っている。」しかし、他人から見ると「そうでもない。」というのが、本当のところかもしれない。

いずれにしても、最近は、「慣れた。」気がする。

ちなみに、泣いていたのであるが、翌日、すっきりした顔で、サインをして持ってきた。なんて、不思議な国かと思う。

最近の物価高は、確かに理解する。

ガソリン代が35バーツを超え、米の値段が相当に上昇した。

最低賃金も、毎年、1月に5-6バーツのペースで上がっていたのに、6月という時期に、5%上がった。

バンコクの最低賃金は、6月1日より203バーツ。

もはや、200バーツあれば一日暮らせるという時代ではなくなってきている。

物価が上がった話をしていると、ある人がこんなことを言った。

「ガソリン代が上がっていることは分かる。でも、何でボーイの値段が上がらなきゃいけないの。」って。

確かに、ショートで1枚なら嫌な顔をされる場合があると思う。

便乗値上げも困ったものである。

それ以上に、思考的に、「物価があがったから、給料もあがらなければいけない。」「収入も上がるのが当然である。」と思うことが、嫌だなーと思う。

-



専属のつもりは無いが・・・

2008,5,3



お気に入りのスニーっ子がいる。

(多分、前にも書いたかな?)

勤務開始後、初めてのお客が僕だった。

その後、何回かは、offされたが、僕と遊びに行く回数は、圧倒的に多い。

4月のソングラン前に連れ出して、今回、5月の連休に連れ出したら、なんと、「その間、一度もoffされていなかった。」

店のママ(日本人)に、「あんたしか連れ出す人は、居ない」と言われ、大笑いされているが、真実らしい。

恐るべき、マニアックな趣味。誰ともぶつからない。

基本的に、スニーっ子は、皆のものだと思っている。

兄弟は、当たり前だ。

「ねえ、食べた? どうだった?」って特に可笑しい会話ではない。

美味しいものは、分け合って・・・と思っている。

誰も、食べない理由は???何だろう??

困っているわけでもなければ、専属にしているわけでもない。

が、結果的には、「専属」というのも、おかしなものである。

ある日、このような順で、連れ出す。

1) 携帯電話は持っていないので、本人には、連絡できない。

2) 僕が店のママに電話する。

3) 店のママが携帯で寮に電話し、僕が寮に行くから支度をしておくように言う。

4) 迎えに行き、寮に住んでいる会計担当の子に、off代を払う。

5) お店の開店を待たず、仕事帰りに一緒に飯が食える。

なんて、便利なのかと思う。

不思議と、何度もoffしているから、情は沸いてくるが、どうしたいとも思わない。

むしろ、便利な存在で居て欲しい。

あっちの方の相性が非常に良いので、月に一度くらい、遊べれば、十分である。

でも、この状態じゃ、経済的に難しいと思う。

まあ、本人曰く、察があるので、家賃や光熱費は不要だし、店内でもチップは入るし、一食は、店で食事が出るので、「欲がなければ」居続けることは可能なようだ。

僕は、もうしばらく、居続けて欲しいと思っているのだが・・・

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

6月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

購入の経緯

2008,6,30



PARK LANE（新しく契約したコンドの件）に関して、少し書きたいと思います。
 2ヶ月ほど前から、パタヤの街中の至る所に、広告を見かけ、100万バーツスタートと書いてある価格と、建物の周りを流れるプールがとてもりゾートしており、興味深々でした。
 先週、値段表を取りに行ったところ、タイ人オーナー価格と外国人オーナー価格があまりに違っており、（30万バーツ前後）こんな外人価格を提示する会社からは、買うもんか・・・とっていました。
 土地だけは、確認していましたが、建物を建設する様子もなく、ただの荒地としか僕の目には映らずに、「買わない。」と決めていた。

28日の土曜日、休みだったので、何となく気になり、モデルルームだけでも見に行こうと思ったのが、衝動買いの理由である。
 今のコンドが40M2（スタジオ）に対して、36M2（1ベッドルーム）に非常に興味があった。どんな部屋の構成なんだろうかって興味があった。

モデルルームがものすごく気に入った。
 確かに、狭いが、一人又は二人で暮らすには、丁度良いスペースである。
 何より、建物の周りをぐるりと取り囲むプールが気に入って・気に入って・・・・欲しくて・・・・欲しくて・・・・

全部で四棟の建物が建つ予定だが、一棟はすでに完売。
 2棟目も外国人枠（49%）は終了。
 3棟目は、今、売り出したばかりという状態。
 （建設予定地は、草ボウボウで、建築は、全く始まっていない。）

モデルルーム見学後、通された部屋では、値段表を見ながら、「何階の、何号室が良い？」という話に

なっていた。

「買う？買わない？」という話ではなく、最上階(8階)を希望する僕と「暑いから」という理由で最上階を嫌うダムさんとの「何階が良いか。」という話になっている。

3棟目の6階に決めたのは、モデルルームに入って、1時間もしない段階。

最初の契約金の5万パーツも、「すぐにATMから引き出してくる。」といった状態。

あまりの即決に、自分でも不思議であった。

仮契約後に、友人に話したら、「本当にモデルルームは、36M2あるのか？」等の質問の他に、「もし、建設途中で、会社が倒産したら・・・」って基本的な疑問をぶつけられて、急に不安になった。

新築コンドは、計画段階で、お金を払い始めるのは、常識である。

但し、お金集めに失敗したら・・・経済が、ひっくり返ったら・・・お金を払って、返金されない危険性は十分にある。

ちなみに、契約書には、予定の完成工期(2011年1月)より90日以上遅れた場合は、全額返金すると書いてはあるが、問題となるのは、倒産した場合であるだろうから、戻ってくるとは思っていない。

だから、今まで、新築物件には、手を出さなかったのである。

しかし、契約した今となっては、開き直すしかない。

怖がっていたら、新築コンドは、絶対におえないということも事実としてある。

まあ、2011年までの夢を買ったと思うしかない。

実は、契約するにあたって、現在のコンドを売るというのが、前提である。

だから、計算上は、新築金額-現在のコンドの売却費用を2011年1月までに作ればよいと考えたので、サッと契約したのである。

ちなみに、契約後に「買っちゃった・・・どうしよう・・・」なんて、僕の方がうろたえていたが、ダムさんは、「契約を済ませた後で、心配しても仕方がない。」と一括。

「あんたは、人の金だから、良いじゃん・・・」と思ったが、そんなこと言い出すと、喧嘩になるので辞めた。

「建つ・建たない」の問題は、全く考えておらず、「　　パーツの部屋に住める。」ということばかりを強調する単純なダムさん。

とりあえず、10年前のアジア経済危機のようにならないことを祈るしかない。

信じてまっせータイランド。



衝動的に・・・

2008,6,29



前々から興味はあったのだが、モデルルームを見て、衝動的に契約してしまった。

新築コンドは、タイスタイルで、先にお金を払わなければならず、自分では、絶対におわないと決めていた。

これだけ、どんどん値上がりしており、まさにバブルだし、上手くいっても高値で推移するだけだろうということも承知の上で、荒地で何も無い未来のコンドの契約をしてしまった。

詳細は、月曜日に書きます。

http://www.condo-for-sale-in-pattaya.com/iguana_company/partners.php

ちなみに、上記ページのPARK LANEというコンドです。

 携帯からネット

2008,6,28



携帯からネットに接続している。

今日、トック・コムでネットに接続できる携帯を買い(4900バー)USBでパソコンに接続し、20時間100パーツのネット環境が整った。

でも、非常に遅いので、メール確認くらいかな・・・

 バランスの悪い借入金

2008,6,26



タイ人は、勇気があると思う。
借金が、何も怖くない人だからである。

ワーカーさんで、下記のような書類を持ってきた。

住宅ローン返済の為、毎月、5800パーツずつ給料から引くことを認めますという書類である。会社が、住宅金融公庫と提携しているので、会社の給料から、差し引いて、会社が毎月、住宅金融公庫に支払をするという制度がある。

住宅金融公庫からすると、給料から差し引くので、返済に関しては、確実性がUPするし、従業員の方も、事務処理が会社任せで楽である。

ただ、基本給6300パーツの人が、住宅ローンの返済に、5800パーツというのは、いかにもバランスが悪い。

何度も確認したが、夫の収入があるので、構わないというのだ。

確かに、夫婦で働き、一人分の給料は、住宅ローンで消えるというのは、ある話だと思う。

しかし、基本給6300パーツで、5800パーツの住宅ローンを払ったら、500パーツが手取りとなる。

「どうやって、毎日、生活するのか？」が不思議であるし、この30年ローン契約を決断できる勇気が凄いと思う。

僕は、早期リタイヤのことばかり考えているし、30年ローンなんて、とんでもない話だと思うが、当の本人は、自分が30年払い続ける = 働き続けるということを理解しているのであろうか。

それとも、子供が働ける年齢になったら、子供にバトンタッチしようと考えているのだろうか。

タイ人の中でも、家は、一生使える物という発想があるようだ。

日本でも、住宅ローンといえば、25年や30年が普通であるかもしれない。

しかし、収入のほとんどが、住宅ローンとなると、何の為に働いているのか分からない。

日本も、家の為に、働いているというが、タイでも、家の為に働いているという人も、かなりいるようだ。

 訪問者

2008,6,18



銀行員（タイ人）が、僕を訪問した。
ちなみに、僕の貯金（定期預金）は、パタヤの支店に預けている。
今回は、勤務先の近くの支店から、2名の女性職員が、セールスに来た。

タイは、金利が徐々に上がりつつある。
僕は、6ヶ月定期で運用しているので、金利が上がっても、6ヶ月満期になった分からは、新しい金利は適用されない。

支店の女性行員は、全部解約して、新たに、入金しなおしたら・・・と進めてくれた。
彼女の狙いは、預金をパタヤ支店から自分たちの支店に移すことが目的であるが、金利が上がったから、解約して、新しく預けなおすというのは、あまりに短絡的であるとする。
事実、6月末に満期が来るものがあるとしたら、2週間前に解約して、1月から6月分の利息を捨ててまで、新しく入れなおす程、新しい利息がおいしいかどうかといえば、そうではないとする。

もう一つ進められたのは、保険付、積立とでも言いましょうか・・・毎年、10万バーツ7年間支払う。
15年後に、100万バーツが返金されるという金融商品。

外国人なので、15年という月日は、長すぎるような気がしてならない。
それなら、定期にしておいた方が、まだましだと思った。

銀行員の訪問時に、驚いたのは、僕の定期預金の履歴をすべて持って訪問したことである。
そりゃ、銀行員だから、見ようと思えば、顧客の情報は見れるとは思うが、タイという土地柄を考えた時に、恐ろしいと思った。
日本人という目線で見れば、特別に、お金持ちとも思わないし、単なるサラリーマンであろう。40歳に手が届く年で、多少の預金ぐらいあって当たり前であるとしが思えない。
しかし、タイという土地柄、現金預金を持っている人は、非常に少ない気がする。

それなりの収入の人は、それなりの物を買って、それを転がして、儲ける仕組みとなっているし、とりあえず、頭金が払えれば、買ってしまおうというのが、タイの大きな買い物仕方である。そんな中で、預金の情報が、他支店にも、簡単に手に入り、それを元に、営業に廻るとするのは、恐ろしいことであると思う。
一瞬、「誘拐されるのではないかと・・・」とすら不安に思ってしまった。

でも、生まれて初めて、銀行員に訪問された。
VIP客とは言わないが、少なくとも、銀行に、ある一定のステイタスを認められたという事か???嬉しいやら、迷惑やら、心配やら・・・複雑な気持ちである。



ついに・・・症状が・・・

2008,6,17



ついに・・・やはり・・・という言葉が適切かもしれない。
足の親指の先が妙に痛み出し、病院へ行った。
原因は、はっきりしており、ビールの飲みすぎによる尿酸値の高値である。
バンコク・パタヤ病院へ行き、「尿酸値を測定して下さい。」といい、測定した結果は、7.8だった。
2年前に健康診断で引っかかってからは、7.0以上が正常値を超えた値だと認識しているので、7.8は高い数値だと思った。
それにしても、病院へ行き、「尿酸値を検査してくれ。」といえば、すぐに、検査してもらえるのがありがたい。
さすが、タイの病院は、サービス業であると思った。

自分への甘えであったと思う。
2年前に、健康診断で引っかかり、「量を減らそう」と心がけていたが、いつの間にか、かなりの量になっていた。

そして、今年4月の健康診断では、正常値の範囲だったので、「もう、大丈夫」と思っていたのが、認識不足だった。

医師より、「尿酸値専門の医者を紹介する。」と言われ、予約を入れてもらった。
しかし、原因は、ビールであることは、何よりも自分が承知していること。

さてさて、冷蔵庫の在庫はどうしようかと考えたが、とりあえず、土曜日と日曜日に缶ビール1本、そして、月曜日は、一本も飲んでいない。
平日に、ビールを飲まない日は、何年ぶりだろうと思った・・・

ちなみに、飲まなきゃ、寝れないと思っていたが、意外にも、トイレに起きる必要もなく、ぐっすりと朝まで安眠できた。

また、偶然かどうかは分からないが、ビールを1本も飲まなかった翌日、お腹の調子が悪く、1日に数回もトイレに行く羽目になった。
ビールとの関係は分からないが、お腹が痩せた気がするの不思議である。

本当の事を言うと、健康診断で尿酸値を指摘されてからも、飲み続けてきた理由は、「早死にしても構わない」と思っていたからだ。

身体をいたわって、食べたいもの・飲みたいものを我慢し、長生きするならば、ほどほどで良いと思っていた。

もう一つは、「健康診断で、引っかかって、自覚症状が何も無いから、気にすることは無い。」と思っていた。

しかし、「親指が痛い」という自覚症状が出て、急に考えが変わった気がする。
長生きしたいという問題ではなく、病気になること自体が怖いというか、嫌である。

外国人が、病気になれば、高級病院に入院するとなり、経済的な負担もあるし、何より、「痛み」がある生活は、サバァイではない。

たった足の親指が、痛いだけで、サバァイではない。
気持ちの問題かもしれないが、膝まで重く感じ、見えないストレスを感じる。

人間、そんなに簡単には、死なないと思う。
30代から、病気と付き合うのは、嫌である。
今までのように、「健康が当たり前」で生活したいと思った。

別に、酒を全く辞めようとは思っていない。
但し、家では飲まないようにしたいと思っている。
毎週パタヤから帰る時に、缶ビールを買い込んで帰ってきていた。
シンハビール・ライトが田舎では販売していない為である。
毎週の購入の量から1ヶ月分の量を考えると、恐ろしい量である。

社交の意味で、外では飲むと思うが、家で飲むビールを控えることで、かなりのビール量減となる。

今回は、続くと思う。
自覚症状が出た後では、遅いかもしれないが・・・



さすが田舎・・・コンドを買う際も、ゆるゆるだと思った。
 ダムさん、予約時に、1万バーツ払った。
 1週間後に、手付金を10万バーツ払った。
 残金は、30万バーツ-11万バーツ=19万バーツである。
 3分の1しか払っていないのに、鍵も貰って、内装工事を開始した。
 内装工事と言っても、ベランダに洗濯機を置くので、その配線と水道の配管工事だったり、
 扇風機を取り付けたりするだけである。
 30万バーツの部屋に、金をかけても仕方が無いと思い、最低限の工事である。
 そして、家具と電化製品を購入する予定である。

本来は、残金の19万バーツは、ダムさんが銀行で借りる予定であった。

しかし、急遽、予定を変更。

僕がお金を貸すことになった。

何故かと言えば、銀行は、「短期では貸さない」からである。

正直、残金、19万バーツなので、1年でも返済可能である。

なのに、住宅ローンの場合、最低10年だということである。

最初は、3年と言っていたのに、10年ということが判明し、借りる気もなくなった。

タイらしいと思ったのは、繰越返済は、可能だが、10年分の利息を払わなければならないということである。

何かする場合、トータルで利益を出すという手法ではなく、1件1件、絶対に損になるような商売はしない・・・これが、タイ式なのかもしれない。

11万バーツは、ダムさんが自分で出したのだから、残りは、払ってくれるだろうと勝手に決め付けて、貸すことにした。

ちなみに、僕が貸すのは、15万バーツで、来月の3日までに支払をし、支払と同時に、名義変更も終了ということらしい。

とにかく、30%のお金を払ったにすぎないのに、工事が次々に始まっていくことが、最大の不思議である。(名義変更は、当然、されていない)

昔なら、不安でたまらなかったのだろうが、今は、こんなもんでしようと思っている。



引越して頭の痛いこと

2008,6,6



来月までに、引越しをしなければいけなくなった。

タイの場合、アパートは、家具付きなので、大きな荷物は無い。

パタヤと田舎に物が分散しているから、多分、荷物も少ないと思う。

家具に関しても、ベッド・タンス・鏡台の3点セットは、最低でも備え付けられているのが普通である。

もちろん、値段によっては、何も無い部屋もある。

大きな家具類が無い分、身軽に引越しができるのが、タイの利点である。

日本のように、トントラックを呼んで、作業員を頼んで・・・という引越しではない。

さて、7月末までに、引越しをするとして、頭の痛いことがある。

田舎暮らし・・・ついつい、日用品・食料品のストックが大量にアル。

二人暮らしの日用品・食料品のストックと言えば、「たかが、少量・・・」と思いがちであろう。

しかし、何故か、日用品の買いだめをする習慣があり、かなりの量である。

原因は、簡単である。

田舎には、大型スーパーが無い。もし、日用品を買うとしたら、セブンイレブンか、雑貨屋で買う。欲しいものが無い場合・又は、欲しいサイズが無い場合も多い。

田舎では、トラベルサイズの品物（旅行に行く時に、使用するサイズ）のものが多く、（少量のもの）だから、日曜日にパタヤから帰るときに、ロータスで買い物をするのが、習慣である。

プロモーションの札が付いていると、ついつい大量に買い込んでしまう癖がある。しかも、実は、違っていることがあるが、「大量に買った方が、安い」という先入観がある。例えば、トイレトーパー6個入りを買うのなら、12個入りを買った方が、1個あたりは安いと思っ込んでいます。

そんなわけで、シャンプーの大瓶の予備が5本、トイレトーパー24個入りを買ったばかり、洗剤の予備が5KG 2袋、歯磨き粉2本セットが3つ・・・等々・・・実に、在庫が多いのである。安い時のまとめ買いは、主婦の知恵だし、腐るものではないから、「在庫のどこが悪いんじゃい。」と思っはいるが、引越しの荷物のなかで、これは、無駄な労力を使わなければならないと考えたら、嫌にもなってくる。今のアパートは3階で、引越し先は、4階。

その他に、田舎では、絶対に手に入らないもの・・・例えば、日本食の調味料などの在庫品も、引越しの際に、無駄な労力となりそうである。

今日から、在庫を減らす為に、努力しようと思うが、それよりも大事なことは、これ以上、在庫を増やさないことかもしれない。そもそも、7月末まで（1ヵ月半）で、使い切る量ではないことは、自分が、一番良く分かる。

タイ人のように、「無くなってから、買う。」ということに切り替えたいが、どうも、昔からの習慣が抜けない。

これを機会に、せめて、ストックは1個と決めたいほうが良いかもしれないと思うが、そんな管理は、私生活でできるはずもない。結局は、「あっ、安いなーーーー。2個ほど買っておくか」なんて、買い物をしていると、気がつけば、日用品の在庫量は、増える一方である。

田舎暮らしと言っても、ロータスまで50KMの距離。工業団地の裏の村から、表に引っ越すので、実際は、工場-コンドまで3KMほどで、コンドから、パタヤ市内まで45KMほどになる。

やっぱ、不便な生活かもしれない・・・と、これを書いていて、感じた。



物件確認に行く

2008,6,5



本日、会社を抜け出して、ダムさんが買うと決めた部屋を見てきた。数日前に、3階の部屋を見たが、同じ造りだった。（当たり前かも）

新しいものを買うというのは、楽しいものである。何よりも、年末に完成するであろう予定のフィットネスとサウナが楽しみである。（現在は、ただの空き地である。）
部屋を買ったとはいえ、内装や電化製品を入れると、かなりの出費となるかもしれない。

1. 温水器を設置する。（冬場には欠かせないから）
2. 洗濯機の為の水道を引く。（ベランダに台所があるが、洗濯機も置きたいので、もう一つ水道の蛇口が必要）
3. エアコン（これは、設置費用を払って、お金で解決）
4. 網戸（鉄の扉付き、網戸を買いたい。これは、防犯・虫除けの意味からも、非常に有効なものである。）
5. 冷蔵庫（今、田舎で使っているのは、非常に小型の冷蔵庫である。車のトランクに入れて運べるくらい

の大きさである。自炊をしたいので、大きいものが欲しい。)

6.その他、ベッドとタンスは、絶対に必要であろう。

色々考えると、かなりの出費であり、頭が痛い。

とりあえず、6月11日に、前金を10万バーツ払ったら、鍵を貰え、内装もはじめることが出来るらしい。

引越し予定は、7月末。というのは、今の田舎のアパートは、契約上、30日以上前に、通告しないと、デポジットが返って来ない。

6月に入ってしまったので、6月末では間に合わず、7月末までいなければいけない。

まあ、タイだから、きつぎつのスケジュールで行くのではなく、ゆとりをもったスケジュールの方がベストだと思う。

生活環境が新しくなるということは、楽しいことである。



コンド購入(ダムさん)

2008,6,4



ダムさんが、工場の近くのコンドを購入した。

コンドと言っても、パタヤのコンドとは、天と地との差である。

大きな計画だが、まだ、1棟目しか建っていない。

2ライの土地の中に、数棟が立つ予定である。

実は、数日前に、僕が見つけて、「会社を休んで部屋を見て来い。」と指示をしたのだ。

借りてもいいし、買ってもいいと思った。

四階建ての新しい建物である。(購入したのは、4階)

どうみても、パタヤのコンドとはだいぶ違う。

しかし、30万バーツという価格は、ゴミコンドと同じ値段である。

こんなにも思い切り購入を決めた理由は、いくつかある。

1.サウナとフィットネスが今年末に完成する予定であること。(平日に、運動できれば、ありがたい。)

2.ダムさんが買うから(僕も、援助はするが、自分の家賃分だけしか支払わない予定)

3.場所柄、どんな場合でも、「賃貸に出せる」と考えた。

4.好きなデザインに直せる。

5.ベランダに調理する場所がある。(トイレで皿を洗う必要が無い。)

6.ダムさんに、借金をさせなかった。(現金があったら、実家に持っていかれるだけだから・・・僕

は、毎月、5千バーツ払う予定だから、ダムさんが5000バーツ支払えば、2年半で、ローンも終了する。

2年半といえば、バイクのローンと同じくらい)

本日、1万バーツの契約金を支払った。

これから帰って、詳細を聞く。

それにしても、えいやっ・・・で、大きな買い物ができるようになったと思う。

まあ、コンドと言っても、32M2で日本円で100万円ですから・・・

それにしても、海外転勤の噂がある中、こんな買い物をして、果たしてよかったのかとふと思う。

まあ、ダムさん名義ですから・・・お金も、多分、ダムさんが払うんでしょ(???)



明日から来ません

2008,6,2



タイで仕事をしていると、タイで働く日本人から、「怒り」「嘆き」「あきらめ」等の声を聞くことが多々ある。

今日は、久々に、自分でも実感した。

父親の具合が悪くなり、先週1週間、実家に帰っていた子が、ひょっこり現れて、「父親の看病をしなければならなくなりました。」という理由で、「明日から来ません。」ということになった。

本日付で退職と言うことである。

まあ、正直、「またか・・・」という感じだが、現場のワーカーではなく、「大卒スタッフ」だった為、少々驚いた。

確かに、家族が急病で倒れることもある。

兄弟のだれかが、看病しなければいけないということもある。

しかし、翌日から「会社に来れません。」じゃ、「責任感」「仕事への愛情」「会社への帰属意識」などあるのだろうか？と思う。

あるわけ無いじゃんと言われれば、それまでだが（笑）

タイだから・・・慣れっこになってしまっているが、心の中では、「だから、一人一人の賃金が上がらない。」と強く思う。

転職文化は、賃金アップには良いが、「プロがいない。」ということ「いつ辞められるかもしれないから、本当は一人でできる仕事だが、急に辞めるリスクを考えて、二人雇用する。だから、雇用する賃金も安く」と考えるのは当然の事である。

親の病気で、あっさりと「会社を即日辞める。」ということが、どうも理解しがたい。

タイ人の面接は、何百人、いや、何千人と経験がある。

「親が病気で、看病の為、仕事を辞める」という人に出くわす反面、以前の会社の退職理由に、「親の具合が悪くて看病の為、会社を辞めました。そして、何ヶ月後にすっかり良くなったので、また仕事を探しています。」という声を何度も聞いた。

「2-3ヶ月の事ならば、会社を辞めずに、何とか済む方法は無かったのか？」と聞きたい。

日本人は、会社を辞めた理由によっては、「履歴書に傷が付く」と言う場合もある。

タイは、そんな考えは、無い様だ。

例え、数ヶ月であっても、会社に働いた経験があれば、それは、貴重な「経験」であるからである。

タイを分かりすぎると、逆に、「タイ人は身軽で良いな」と思ってしまうのは、僕だけだろうか？



物価上昇の証拠

2008,6,1



最近、物価が上がっている気がしているということを書いた記憶があるが、現実には、次のような記事が出ていた。

アジア経済指標【タイ】「5月消費者物価指数、10年ぶりの高水準となる前年同月比+7.6%」

食品・飲料項目（ウェイト36.1%）は前年同月比+11.8%と前月実績の同+9.8%から大きく加速、やはり現行統計で最も高い上昇率となった（旧基準も含めれば1998年7月以来の水準）。

穀類が同+34.6%と前月実績の同+19.6%から爆発的な上昇を見せた。言うまでもなく、コメの小売価格の急騰が主因。

100%精白米1級品（新米）は昨年12月に1トン当り11,690バーツで取引されていたが、4月の価格は2.3倍の26,081バーツとなった。コメの収穫期に入りつつあるが、今年は豊作であり、かつ高値を狙って作付けが大幅に増えていることから、今

後、価格が急落する可能性もある。

穀類以外にも、肉・魚介類が前年同月比+14.6%（4月同+15.0%）、乳卵類が同+13.5%（同+15.1%）、果物・果実が同+11.7%（同+11.1%）、調味料が同+14.5%（同+11.8%）となるなど軒並み2桁の伸びを示している。

エネルギー（ウェート9.1%）は前年同月比+21.4%と前月実績の同+16.8%から大きく上伸した。軽油小売価格の引下げを目的として3月から政府基金が給油所の売上から徴収する納付金が1リットル当たり0.9バーツ減額されているが（7月までの限定措置）、足許の軽油小売価格はハイ・スピード・ディーゼルで39.04バーツ/リットルとなっており、3月末比9バーツも上昇している。

反政府集会や、僕が勤務する工場の近郊でも、ストライキが起こったりしている。物価高・インフラで、皆、イライラしているのかもしれないと思った。物価が、1年間で7.6%も上昇というのは、かなりの上昇率であると思う。生活必需品が、安く、贅沢品は高いというイメージがあったが、生活必需品が高くなってきていることを実感する。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

7月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

スニーが、僕の部屋に・・・住む

2008,7,29



可愛い子には、甘い。
日本人に超人気のグッド・ボーイの12番。
僕も、非常に可愛いと思っている。
しかし、店の寮の前で、女と肩を組んで歩いているのを見てから、冷めていた。
旅行者を案内すると、必ず指名するから、「僕は、いつでも大丈夫だから、旅行者がお先に・・・」と
いうことで、先延ばしになっていた子である。

前々から、「てつのコンドの部屋が空いたら、住みたい。」と言っており、部屋が空いたので、「住むか？」と聞いたら、「住む」とのこと。
「金あるのか？」と聞いたら、「ある」というし、店のマコママ(日本人)に聞いても、「この子は、よくオフされるでー」って言ってたから、数千バーツのお金ぐらいあると思って、ゴミコンドを案内した。

というのも、以前の一軒家の寮を追い出されて、スニーの中の雑居ビルの2階から4階に分かれて、寝ているらしく、実際に見に行ったが、そりゃ、すごい場所。
人間の住居とする場所とは思えない。

で、最終的には、僕のお気に入りの子(去年の年末から同じ子と遊んでいる)も一緒に住むというので、じゃあ、契約に行こう・・・ということになり、契約に行った。

いい加減なもので、お金なんて一バーツもなく、自分の部屋を借りるのに、僕が全部お金を出す羽目に・・・(そのお金の一部は、家賃収入として、僕の口座に振り込まれるのだが)

初期費用すべて出す代わりに、「明日の朝まで一緒に居ること。」という約束をしたが、契約の手続きや

引越して疲れたのか、夕方6時から朝の8時まで熟睡。
 ゆすっても、携帯が大音響で鳴っても起きない。
 あそこで寝ている子なら、我が家のベッドは、寝心地は、最高であると思うし、何も全く知らない人間
 じゃないし、居心地は悪くないのだろう。

結局、訳が分からないタンブンをしてしまった感じである。
 まあ、唯一の朗報は、僕のゴミコンドに、可愛い子が、住んでいて、いつでも遊びに行けるという事。昼
 間から、暇をもてあましてることが予想されること。

もう一つ、言えることは、1ヵ月後は、家賃を払えないであろうということ。
 家賃を支払う為に、お金を貯めるとかいう習慣・考えはない。
 督促されて、その日に、お客が付かなければ、支払えないという結末になるだろうと予想している。

よく、「女を困っている」ということを聞くが、まさに、今の僕のような状況を指すのかなーなんて、
 て、ちょっと思っている。

- -



タイ・ラットの一面記事に

2008,7,28



新聞の一面にスニーの記事が掲載されていた。
 警察が不審な少年100名の麻薬一斉検査をスニーでおこなった。
 尿検査を行い、48名が紫色と記事には記載。
 つまり、2人に一人は、何らかの薬をやっているということ。

朝、8時頃、スニーっ子を送っていったら、スニー内の安ホテル兼アパートの前で、お客にありつけず
 に、宿泊する部屋の無い子が、路上に戯れている。

路上生活者と言っても、過言ではない状態の子達。
 薬でもやらなきゃ、やってられないのだろう。

以前、バンコクに住んでいた時に、昼間から、堂々とシンナーを吸いながら歩いている少年を何回も目撃
 した。
 警察も、面倒くさいのか、金にならないからか、補導しない。
 放置状態である。

階級社会というか、同じ国で生きているのに、全く別世界の人間のように。

ちなみに、一般のタイ人も、ソイ・スニーというのを理解している人がかなりいるようだ。
 だって、友人のタイ人(ノンケ)に、スニーって、てつさんがいつも行くところでしょ。
 新聞に出ていたの知ってる?なんて聞かれたんだから・・・

エリートタイ人は、絶対に、足を踏み入れない場所。。それが、ソイ・スニーである。

- -



個人のバランスシート

2008,7,22



